

KB-Nx50A シリーズ

KB-N450A / KB-N550A / KB-N650A

取扱説明書 - 操作・設定編 -



お客様へ

このたびは、弊社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社 ケービデバイス

限定保証

(株)ケービデバイス(以下、当社)は、KB-Nx50A シリーズ(以下、本機)が頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

つきましては、当社へ返送していただいたもので、当社が点検した上で材料および仕上げに欠陥があると判断した場合は、当社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。

なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 5 年間かつ日本国内で使用される本機についてのみ有効なものとなります。

免責事項

- ① 当社は、市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、保証条件以外のもは一切保証いたしません。
- ② いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用により発生した損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。
また、そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。
- ③ お客様は本機の使用、ならびに本機を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。この保証は、最初の購入者であるお客様に対して適用され、お客様が本機を転売された第三者には適用されません。
- ④ 当社は、第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる要求に関しても責任を負わないものとします。
- ⑤ 下記にあげる項目は、保証の対象外とさせていただきます。
 - 火災、地震、落雷、第三者による行為、その他の事故により本機に不具合が発生した場合。
 - お客様が本機に手を加えて改造、修理した場合。
 - 本マニュアルに記載されている内容を守らないことで発生した損害等について。
 - お客様の故意、もしくは過失・誤用が起因して発生した損害等について。
 - アース接続が行われていないことで発生した損害等について。

内容

安全にお使い頂くために	6
使用上のご注意	9
1 章はじめに.....	11
1-1 取扱説明書について.....	11
1-2 著作権について.....	11
1-3 個人情報の保護について.....	11
1-4 商標について	11
2 章PC から本機へアクセスする.....	12
3 章ライブ画面.....	20
3-1 ライブ画面上の各種アイコン	21
3-2 スナップショットを取得する	23
3-3 ライブ映像を PC に録画する.....	24
3-4 デジタルズームを行う.....	25
3-5 レンズ調整をする.....	26
4 章各種設定	27
4-1 カメラ設定	28
4-1-1 コーデック設定	29
4-1-1 関心領域 (ROI)	32
4-1-2 映像設定	34
4-1-3 露光設定	37
4-1-4 レンズ調整.....	40
4-1-5 モーションセンサー.....	42
4-1-6 プライバシーマスク.....	46
4-1-7 OSD.....	48
4-1-8 いたずら検知	49
4-2 ディスプレイ.....	50
4-2-1 ディスプレイ	50
4-3 音声.....	51
4-4 ユーザー.....	52
4-4-1 管理	52
4-4-2 グループ権限.....	54
4-5 ネットワーク.....	55
4-5-1 IP 設定 (IPv4)	55
4-5-2 IP 設定 (IPv6)	57
4-5-3 DDNS.....	59
4-5-4 メール.....	60

4-5-5	UPnP	61
4-5-6	ネットワークセキュリティー	62
4-5-7	IP フィルター	63
4-6	システム	64
4-6-1	日付/時刻	64
4-6-2	システム管理	67
4-6-3	システム情報	72
4-6-4	ネットワークセキュリティー	73
4-6-5	スケジュールプリセット	74
4-7	イベント	76
4-7-1	アクション - アラーム出力	76
4-7-2	アクション - イメージ発送	78
4-7-3	イベント通知	80
4-7-4	アラーム動作	81
4-7-5	モーションイベント	82
4-7-6	いたずら検知イベント	83
4-7-7	システムイベント	84
5	工場出荷時の設定一覧	85
6	トラブルシューティング	90
	製品仕様・寸法・保証書は取扱説明書-設置編-をご確認ください。	6-91

安全にお使い頂くために

- ・ 本機をご使用になる前に、必ず本書をよく読んでください。
- ・ 本書は必ず保管し、使用上不明な点などがある場合には再読し、ご確認ください。
- ・ 本書を十分理解せずに本機をご使用にならないでください。
- ・ 本機の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本機は、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置などの人命、事故に関わる特別な品質、信頼性などが要求される用途でご使用にならないでください。
- ・ 本機は、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。
- ・ 第三者からの不正アクセス防止のため、パスワードは必ず変更してください。
- ・ 本書に載っている挿絵は、実際のものとは若干異なる場合があります。

【 表示および図記号について 】

本書では、本製品を安全に正しくご使用頂くために、さまざまな表示をしています。

内容をご理解の上、本文をよくお読みください。

注意	禁止記号			強制指示記号		
						
一般注意	禁止	接触禁止	分解禁止	強制	電源プラグを抜いてください	アース接続をしてください



警告

正しくご使用頂けない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

● 設置場所の強度の確認を



本機の質量を支えられる十分強度のある場所に設置してください。強度のない場所に設置する場合は、設置前に必ず強度補強を行ってください。

● 落下に注意



設置する天井や壁の材質に適したネジを使用してください。
ネジの締め付けが不十分だと本機が落下する原因となります。確実に締めてください。

● 水にぬらさない



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所（温度、湿度変化の激しい場所）や水の入る場所に設置しないでください。

● 指定の電源電圧を超えない



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。
火災および感電の恐れがあります。

● 分解、改造をしない



本製品を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。メンテナンスや検査が必要な場合には、製品を購入いただいた販売店にご連絡ください。

● 液体や金属片を上に乗かない、挿入しない



本製品の上に、水の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本体内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

● 異常が発生したとき



以下の場合には直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- ・ 本体から煙や異臭または異音が発生したとき
- ・ 落下などにより本体または電源コードが損傷したとき

● 落雷時は触れない



落雷があったときは、本体やケーブルに触れないでください。感電の恐れがあります。落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



注意

正しくご使用頂けない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● めれた手で触れない



濡れた手で本体およびケーブルに触れないでください。
感電の恐れがあります。

● コードを置いたままにしない



ケーブル類を通路に置いたままにしないでください。
通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。
本製品およびカメラからの過電流による感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき



製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。
異物の除去のために薬剤(シンナー、溶剤など)は使用しないでください。

● 使用する場所に注意



以下の場所で使用または保管しないでください。

- ・ 温度が極端に低い、高い場所
- ・ 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
- ・ 埃が多い場所
- ・ 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所

● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、テレホンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。

● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品のリアパネルおよび内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

● 法規に準拠した廃棄を



本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

使用上のご注意

- ・ 本機を屋外に設置する場合、必ず STP ケーブルの使用及び接地工事を行い、金属の支柱や壁面に設置する際は設置面とカメラを絶縁してご利用ください。
- ・ 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本製品を使用しないでください。
- ・ 強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- ・ 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、本製品は適切に作動しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようにしてください。
- ・ 本製品は、停電に備えて設計されていますが、停電により損傷を受ける可能性があります。
- ・ その場合、使用中のデータの損傷や記録ができないことがあります。
- ・ 無停電電源装置(UPS)を使用することを推奨します。
- ・ 本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動に繋がる場合があります。
- ・ 本製品は、外部機器(センサー、オーディオ機器、PC、レコーダーなど)と接続して使用するため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- ・ 本製品から出力される映像情報は個人情報やプライバシーに係わる機密情報が含まれる場合があります。「個人情報保護法」に準拠した取り扱いを実施されることを推奨致します。
- ・ 本製品は、精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。火災や感電、本体の破損に繋がります。
- ・ 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を弊社は負うことができません。あらかじめご了承ください。
- ・ 本製品に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。(ハードウェア、ソフトウェア、文書など)
- ・ インターネットへの接続について本機は電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線 LAN 含む)に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

設置に関する注意事項

- 本機を屋外に設置する場合、必ず STP ケーブルの使用及び接地工事を行い、金属の支柱や壁面に設置する際は設置面とカメラを絶縁してご利用ください。

ネットワークに関する注意事項

本機をネットワークに接続して使用する場合、以下のような被害を受けることが考えられます。

1. 本機を経由した情報漏えいや流出
2. 悪意をもった第三者による本機への不正操作
3. 悪意をもった第三者による本機への妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策を含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- PC が接続されているシステムで本機をしようする場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に(1週間に1回程度)行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名、パスワードを初期値から変更しログインできるユーザーを制限する。
- 画像データ、認証情報(ユーザー名、パスワード)、アラームメール情報、FTP サーバー情報、DDNS サーバー情報などをネットワーク上に漏洩させないため、ユーザー認証でアクセス制限するなどの対策を実施する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ず全てのブラウザを閉じる。
- 管理者パスワードは定期的に変更する。
- 本機、ケーブルなどが用意に破壊されるような場所に設置しないこと。

DDNS 機能に関する注意事項

- DDNS 機能は、お客様自身の責任においてご利用ください。
- DDNS 機能を利用することに関して、お客様に発生する一切の損害、お客様の損失利益その他の派生的または付随的損害、及び第三者からお客様になされた損害賠償請求に基づく損害については、当社は一切責任を負いません。

1章 はじめに

1-1 取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書と取扱説明書 -設置編-の2部構成になっています。

本書では、クライアント PC(以下、PC)から本機へアクセスする方法と本機の各種機能および設定方法について説明しています。

本機の設置方法については、「取扱説明書 -設置編-」をお読みください。

1-2 著作権について

お客様が本機で録画した画像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと、著作権法等に抵触する場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、防犯などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますのでご注意ください。

1-3 個人情報の保護について

本機で撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。

プライバシー侵害に当たる可能性もありますので、映像情報については適正にお取り扱いください。

1-4 商標について

・Internet Explorer®およびWindows Media®Playerは米国及びその他の国における Microsoft Corporation. の商標または登録商標です。

・BonjourはApple Computer, Inc.の商標または登録商標です。

・STARVISは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。

・その他に記載の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

本書中では、下記の通称及び略称で表記されている場合があります。ご了承ください。

Internet Explorer® ⇒ Internet Explorer

Windows Media®Player ⇒ Windows Media Player

2章 PC から本機へアクセスする

本機に PC のブラウザから接続し、ライブ画面表示や設定変更等を行います。
取扱説明書-設置編- を参照の上、あらかじめカメラと PC を接続してください。

2-1. MDload による IP アドレスの設定

付属のソフトウェアを使って、本製品の IP アドレスを変更することができます。

※初期設定では DHCP (IP アドレス自動取得) になっています。

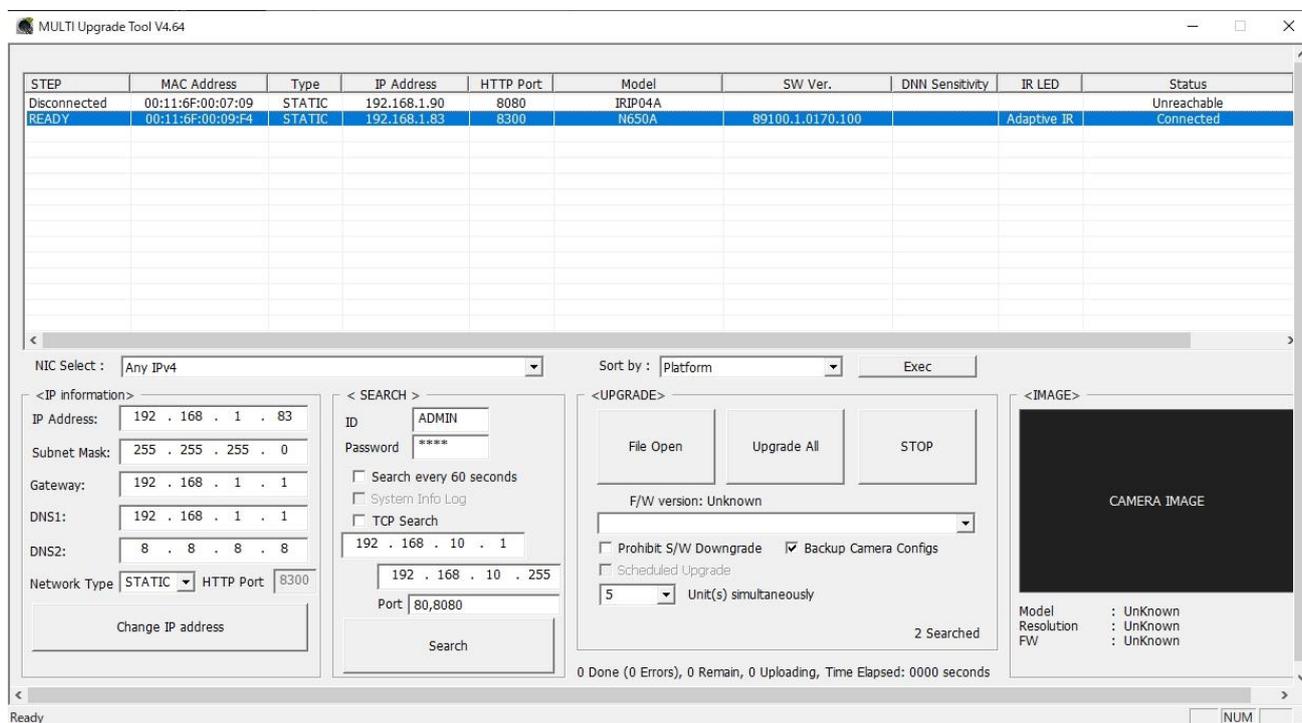
1. 本製品に同梱されている CD-ROM を読みこんでください。



2. CD-ROM 内の MDload-V464 を開きます。

※弊社ホームページからも MDload をダウンロードできます。

<https://www.kbdevice.com/download/>



3. 以下の手順で、本製品の IP アドレスを変更してください。

① 「Search」 をクリックして LAN 内の IP カメラを検索してください。

② 検索結果から、設定を行う IP カメラを選択してください。

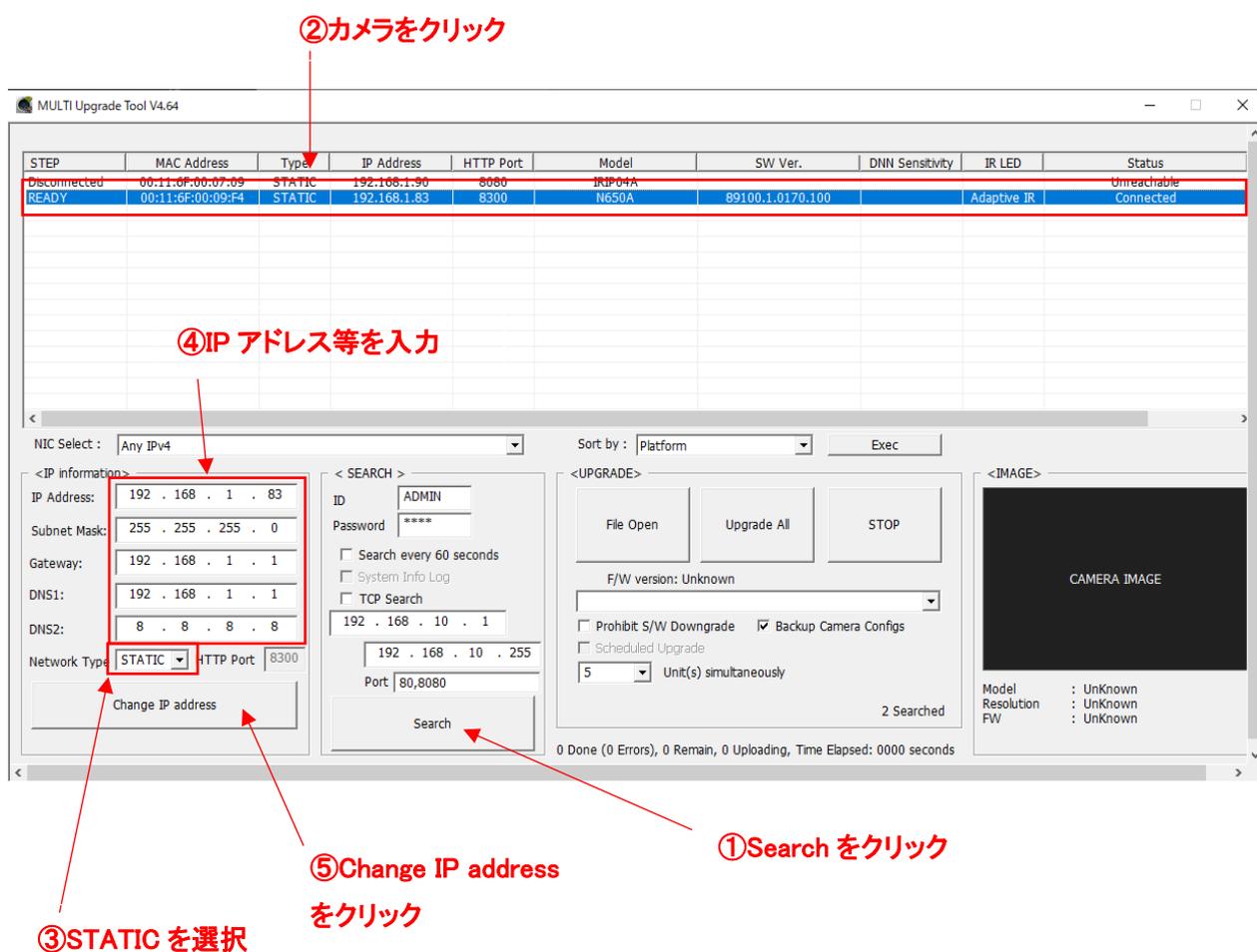
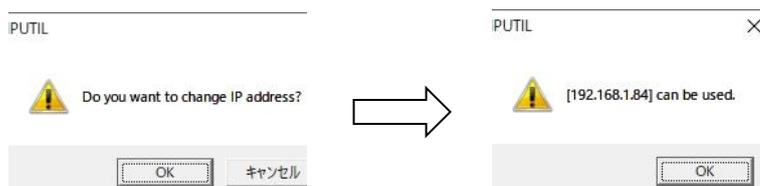
③ 「Network Type」 から「STATIC」を選択してください。

※ ネットワークレコーダー等からのアドレス自動取得を有効にする場合は、「DHCP」を選択してください。

④ IP アドレス等の値を入力してください。

⑤ 「Change IP address」 をクリックすると確認画面が表示されるので「OK」を選択してください。

以下の画面が表示されたら「OK」をクリックし、IP アドレスの変更完了となります。



2-2. ブラウザからのアクセス

本機に PC のブラウザで接続し、ライブ確認や設定変更をすることができます。

推奨ブラウザは Microsoft Edge の「Internet Explorer モード」です。

詳しい設定方法については次頁以降をご覧ください。

※ 本機へ接続する前に、PC の IP アドレス・サブネットマスクを本機に接続可能となるよう設定してください。

【 推奨 PC のスペック 】

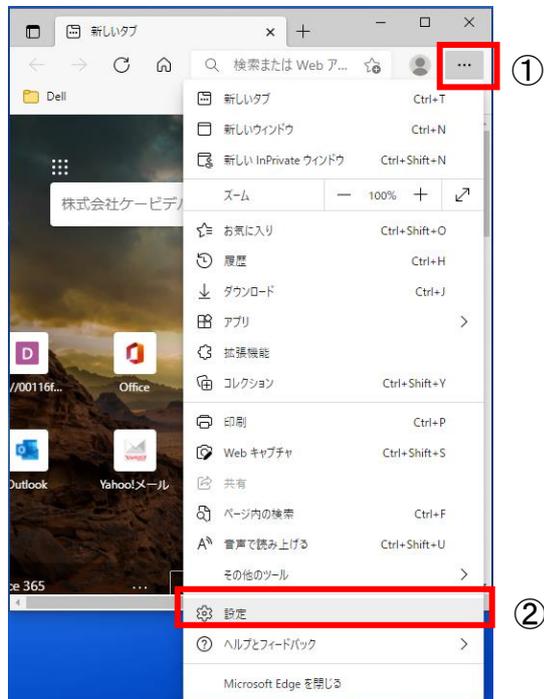
OS	Windows 10
CPU	Intel Core i5 2GHz 以上
グラフィックカード	DirectX10 以上、ビデオメモリー1GB 以上
メモリー	4GB 以上
ストレージ空き容量	1GB 以上（Active X インストール用）
ネットワーク	100BASE-T 以上
解像度	1920 x 1080

※ブラウザで接続する前に、MDload で接続するカメラの IP アドレスを確認してください。

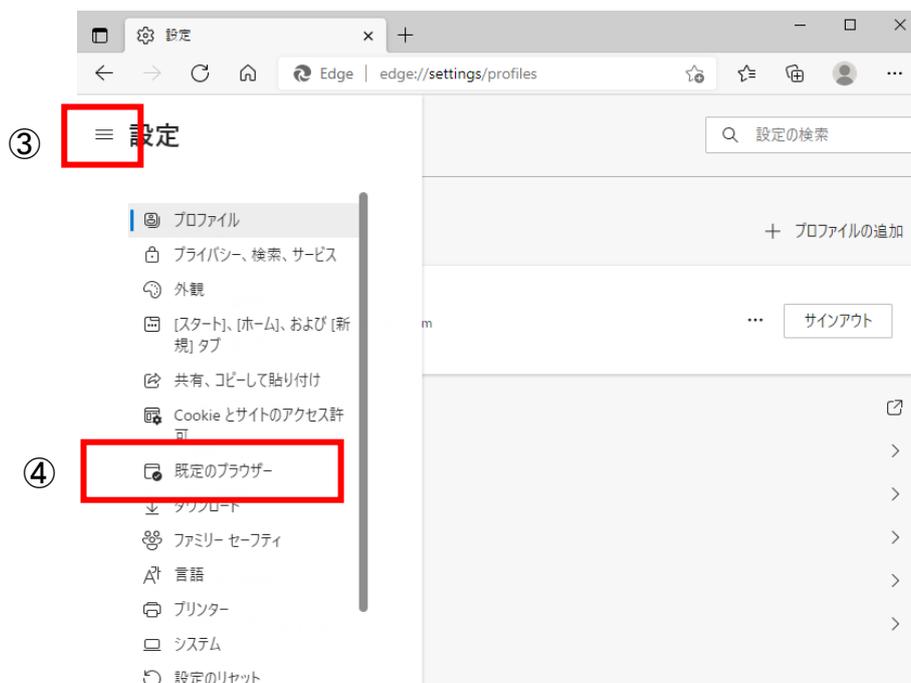
STEP	MAC Address	Type	IP Address	HTTP Port	Model	SW Ver.	Status
Disconnected	00:11:6F:00:07:09	STATIC	192.168.1.90	8080			0.Unreachable(Alive?)
Disconnected	00:11:6F:00:09:57	STATIC	192.168.0.100	8080			0.Unreachable(Alive?)
READY	00:11:6F:00:09:F4	STATIC	192.168.1.83	8300	N650A	89100.1.0170.100	0.Connected

【Edge の Internet Explorer モード設定】

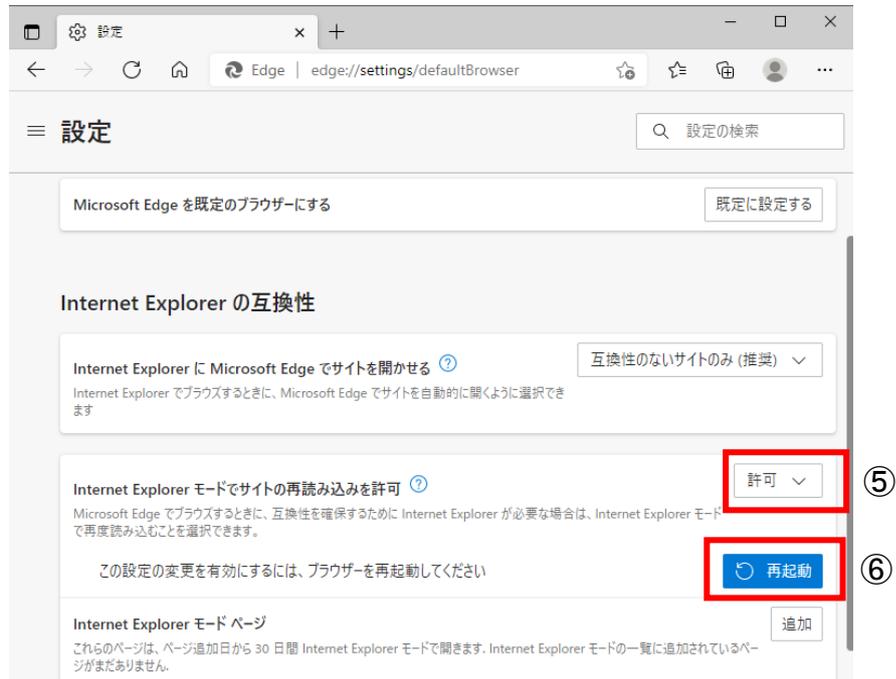
1. Edge を起動し、画面右上のメニューアイコンをクリックしてください。
2. メニューから「設定」をクリックしてください。



3. 画面左のメニューアイコンをクリックしてください。
4. メニューから「既定のブラウザ」をクリックしてください。



5. 「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」を「許可」もしくは「オン」に変更してください。
6. 「再起動」をクリックし、Edge を再起動してください。



【ブラウザからの接続】

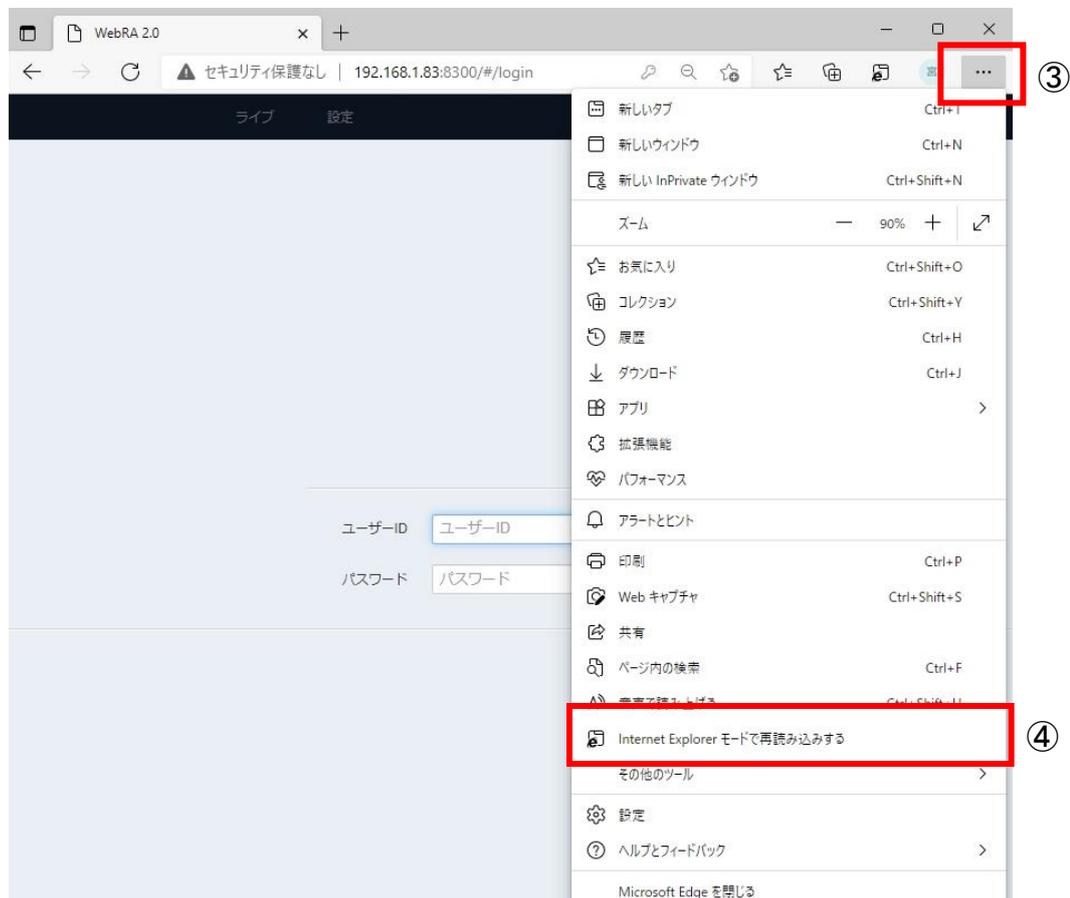
1. Edge を起動し、アドレスバーに本機のアドレスを入力し、Enter キーを押して接続してください。



以下のログイン画面が表示されます。

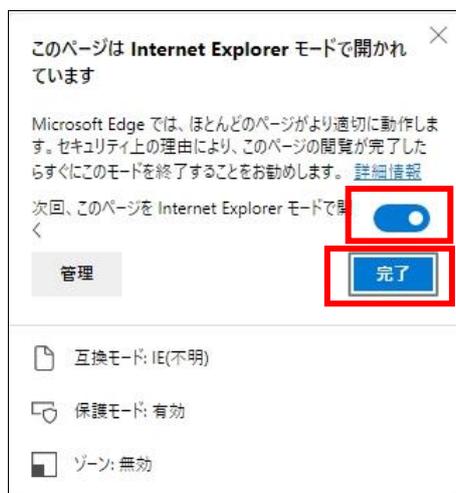


2. メニューから「設定」をクリックしてください。
3. 本機へブラウザ接続後、再度画面右上のメニューアイコンをクリックしてください。
4. 「Internet Explorer モードで再度読み込む」をクリックしてください。



5. 以下のポップアップが表示されます。

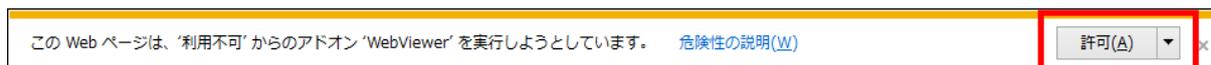
「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」にチェックを入れて「完了」をクリックしてください。



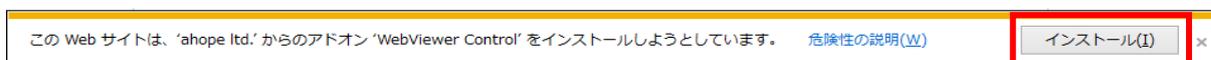
6. ユーザーID(初期値:ADMIN)・パスワード(初期値:1234)を入力して「ログイン」をクリックしてください。



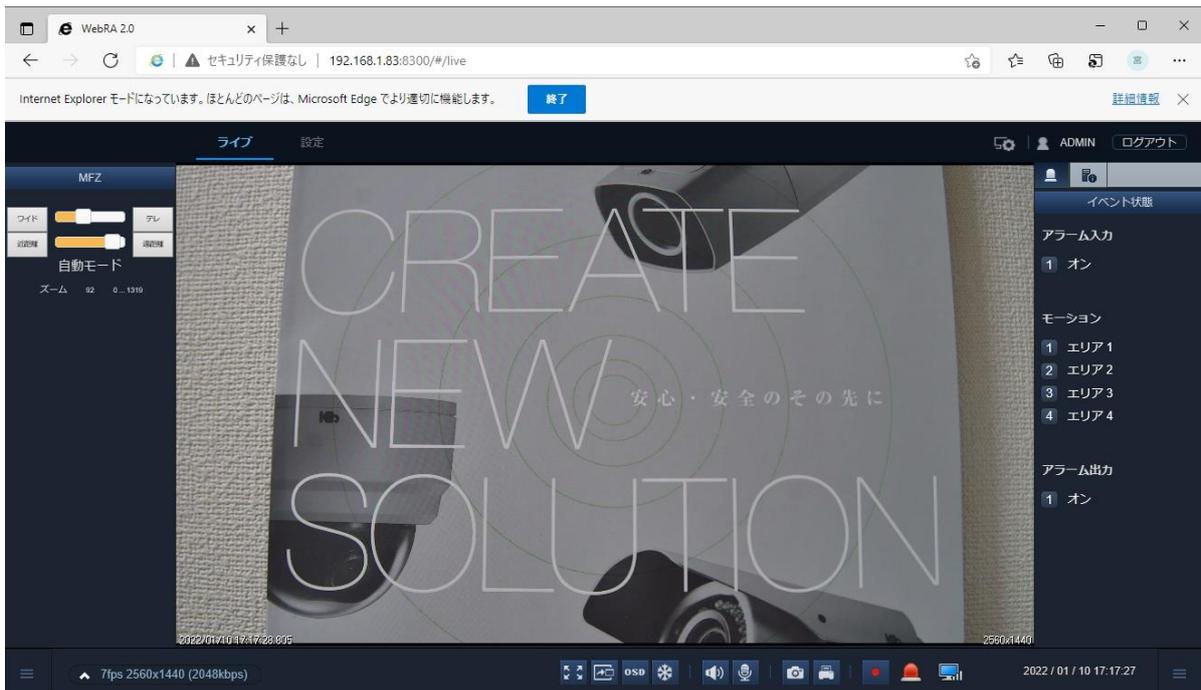
7. PC 画面下に表示されるメッセージの「許可」をクリックしてください。



8. しばらくすると再度 PC 画面下にメッセージが表示されるので、「インストール」をクリックしてください。

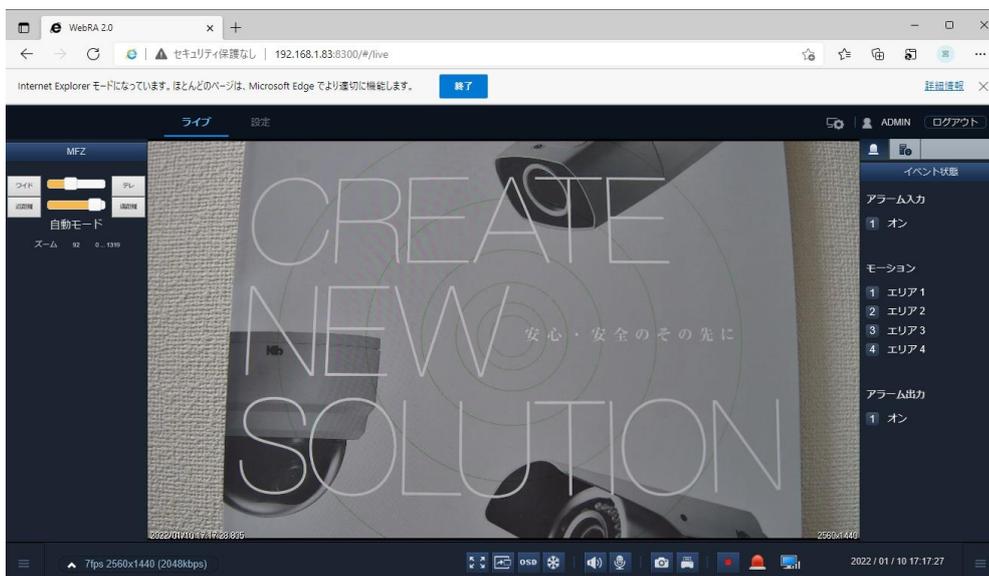


カメラのライブ画面が表示されます。



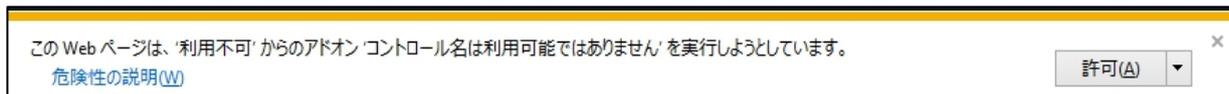
3章 ライブ画面

本機にアクセス後、「ライブ」をクリックすると、ライブ画面に切り替わります。
ライブ画面では、ズーム操作、スナップショットなど様々なアイコンが表示されます。
各アイコンの見方については、次頁以降をご覧ください。



Web ブラウザーを起動してから初めてアクセスした場合は、ログイン画面が表示されます。
ログインを要求された際は、ユーザー名とパスワードを入力してライブ画面にアクセスしてください。

お使いの PC によってはライブ画面を表示する際に、アドオンのインストールを要求される場合があります。
Web ブラウザーからインストールを促すメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがってアドオンのインストールを行ってください。



3-1 ライブ画面上の各種アイコン

アイコン	内容
	ライブ画面/設定画面に移動します
	カメラのライブ表示に関する設定の「セッション構成」画面に移動します
	ログアウトしてライブ画面に戻ります
	レンズの操作(ズームイン/ズームアウト)をします ワイド:ズームアウト テレ:ズームイン スライダー:ズーム位置を任意に変更できます
	レンズのフォーカス位置を調整します ※レンズの操作時に自動的にフォーカスを合わせますが、さらに微調整する際に手動で操作することが可能です 近距離:フォーカス位置を手前に調整します 遠距離:フォーカス位置を奥に調整します スライダー:フォーカス位置を任意に変更できます
	クリックするとイベント状態を表示します
	クリックするとネットワーク状態を表示します
	アラーム入力の状態を表示します アラーム入力が ON になるとアイコンが赤く変化します
	モーション検知の状態を表示します 設定した 4 つのエリア内にモーションを検知すると、それぞれのエリアのアイコンが赤く変化します
	アラーム出力の状態を表示します アラーム出力中はアイコンが赤く変化します 「1」をクリックすると、アラーム出力を強制的に ON/OFF します
	画面左下・右下のアイコンをクリックすると、それぞれフォーカス調整がツールバー・イベント/ネットワーク状態表示バーを表示または非表示にします
	メインストリーム/サブストリームの表示を切り替えます

	<p>クリックするとライブ画面を全画面表示します。 戻る際は Esc キーまたは画面右上の「×」をクリックしてください。</p>
	<p>クリックするとマルチウィンドウでライブ画面を表示します</p>
	<p>クリックすると時計や解像度の表示を ON/OFF します</p>
	<p>クリックすると映像を一時停止します もう一度クリックするとライブ映像を再開します</p>
	<p>クリックするとカメラに接続されたマイクの音声を再生/ミュートを切り替えます</p>
	<p>クリックすると、PC に接続したマイクからカメラに接続したスピーカーへの音声出力の ON/OFF を切り替えます</p>
	<p>クリックするとスナップショットを保存します 保存先は「セッション構成」画面で設定できます</p>
	<p>現在の画面を印刷します</p>
	<p>クリックするとライブ画面の録画を開始します もう一度クリックすると録画を停止します 録画ファイルの保存先は「セッション構成」画面で設定できます</p>
	<p>イベント(モーション・アラーム)が発生すると赤く変化します</p>
	<p>カメラとの通信ができていることを表示します</p>

3-2 スナップショットを取得する

ライブ画面下方の  をクリックすると、現在のライブ画像のスナップショット(JPG ファイル)を生成して保存します。

デフォルトでは下記ディレクトリに保存されます。

C:\SaveSnapshot

【保存先を変更する場合】

保存先を変更する場合は、ライブ画面右上の  をクリックして「セッション構成」画面を開き下記を変更してください。

基本スナップショットダウンロード経路：

C:\SaveSnapshot

変更

変更後、画面の一番の下の  をクリックしてください。

設定後、画面左上の  をクリックするとライブ画面に戻ります。

3-3 ライブ映像を PC に録画する

ライブ画面下方の  をクリックすると、ライブ映像の録画を開始します。
もう一度クリックすると、録画を停止して AVI ファイルを生成・保存します。

デフォルトでは下記ディレクトリに保存されます。

C:\SaveVideo

保存先を変更する場合は、ライブ画面右上の  をクリックして「セッション構成」画面を開き下記を変更してください。



変更後、画面の一番の下  をクリックしてください。

設定後、画面左上の  をクリックするとライブ画面に戻ります。

【録画ファイルの再生】

録画ファイル (AVI 形式) は、付属 CD 内の「BackupPlayer.exe」で再生できます。

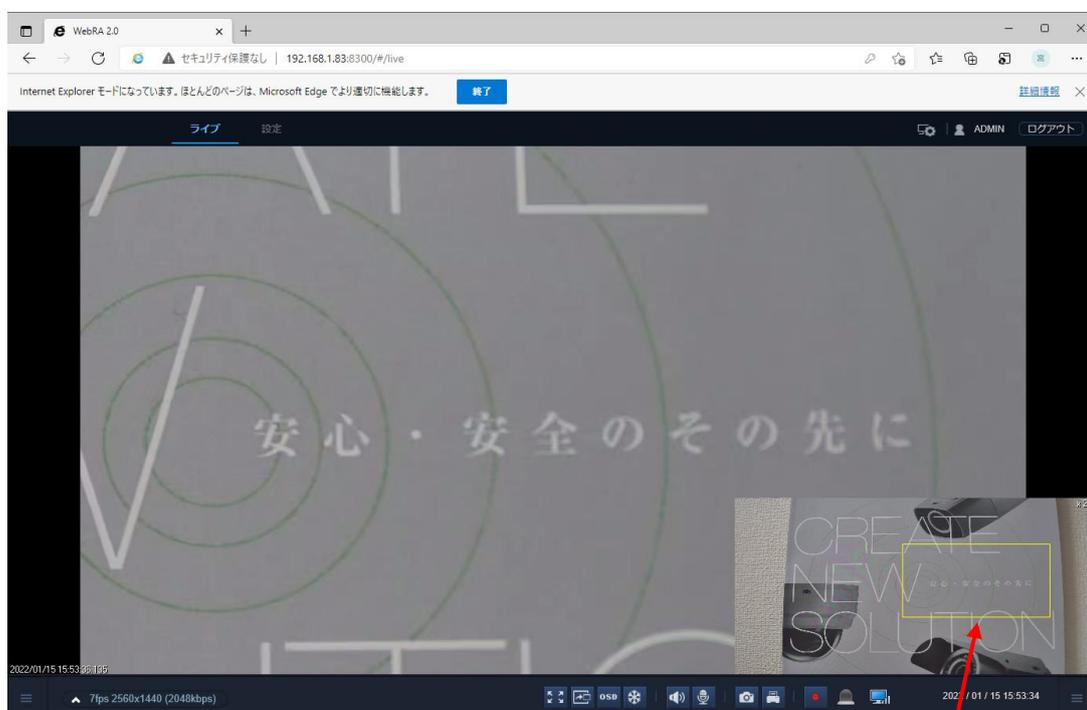
 BackupPlayer を起動し、録画ファイルをプレイヤーにドラッグ&ドロップすると映像が再生されます。

 20220115_150737



3-4 デジタルズームを行う

ライブ画面上でマウスのスクロールホイールを上下すると、ライブ映像のデジタルズームができます。



ドラッグ & ドロップ

画面右下の黄色の枠をドラッグ & ドロップで移動させると、表示位置を変更できます。

マウスのスクロールホイールを下げるとデジタルズームモードを解除しライブ画面に戻ります。

3-5 レンズ調整をする

ライブ画面左下の  をクリックしてください。

→ ライブ画面左にレンズの操作パネルが表示されます。



	<p>レンズの操作(ズームイン/ズームアウト)をします。</p> <p>ワイド : ズームアウト テレ : ズームイン</p> <p>スライダー : ズーム位置を任意に変更できます。</p> <p>※操作後、オートフォーカス機能により自動的にフォーカスを合わせます。オートフォーカス中は絞りが自動的に開放します。</p>
	<p>レンズのフォーカス位置を調整します。</p> <p>※レンズの操作時に自動的にフォーカスを合わせますが、さらに微調整する際に手動で操作することが可能です。</p> <p>近距離 : フォーカス位置を手前に調整します。 遠距離 : フォーカス位置を奥に調整します。</p> <p>スライダー : フォーカス位置を任意に変更できます。</p>

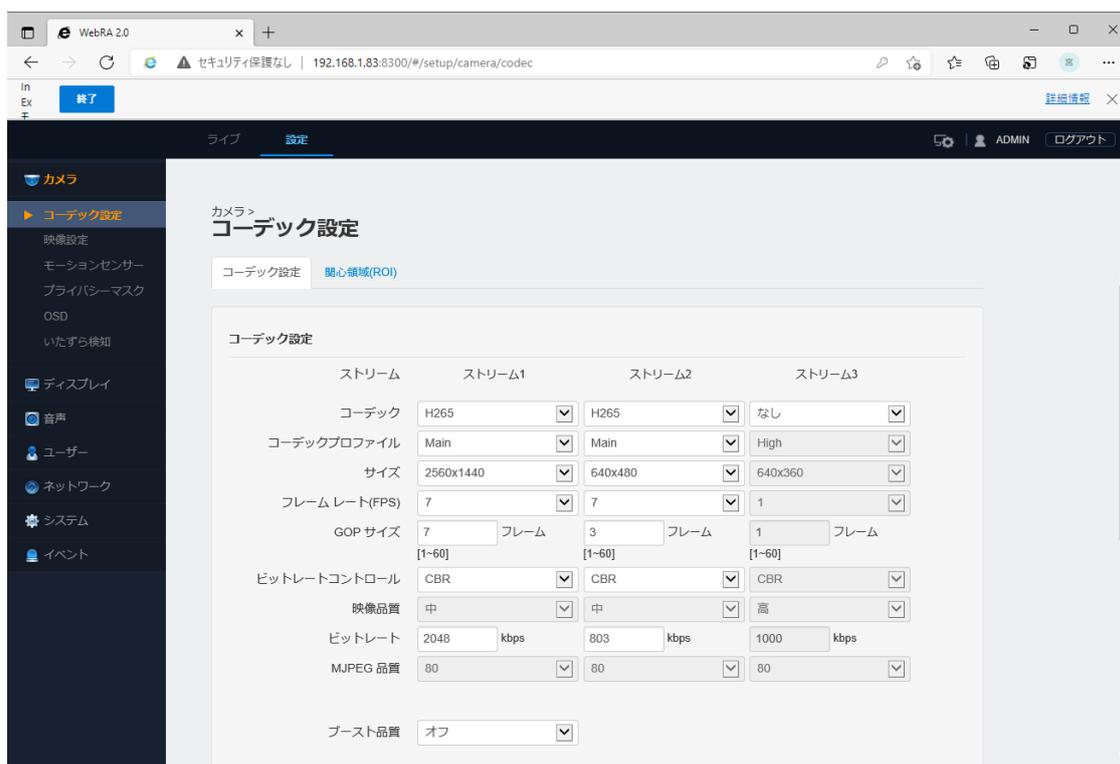
<< 注意 >>

フォーカスの自動調整は、画像内の輪郭成分を元に判別して調整しているため、ご希望のフォーカス位置に調整されない場合があります。フォーカスの自動調整後は、フォーカス位置を確認してください。また、必要に応じて、フォーカスを微調整してください。

4章 各種設定

ライブ画面で上部の **設定** をクリックすると、各種設定画面に切り替わります。

設定画面では、OSD 表示やストリーム情報などの設定を変更できます。



各設定を終えた後、画面下部の **適用** をクリックして設定を保存してください。

設定を破棄する際は **キャンセル** をクリックしてください。

ライブ画面に戻るには画面上部の **ライブ** をクリックしてください。

4-1 カメラ設定

カメラ設定では、ストリームや露光、OSD などを行うことができます。



項目	内容
コーデック設定	解像度やフレームレートなどのストリーム設定を行います。
映像設定	画像の明るさやデイ&ナイト、ホワイトバランス等の設定を行います。
モーションセンサー	モーション検知に関する設定を行います。
プライバシーマスク	プライバシーマスクの設定を行います。
OSD	画面表示に関する設定を行います。
いたずら検知	いたずら検知の設定を行います。

4-1-1 コーデック設定

- カメラ > コーデック設定 > コーデック設定
カメラの解像度やフレームレートの設定をします。

カメラ > **コーデック設定**

コーデック設定 関心領域(ROI)

コーデック設定

ストリーム	ストリーム1	ストリーム2	ストリーム3
コーデック	H265	H265	なし
コーデックプロファイル	Main	Main	High
サイズ	2560x1440	640x480	640x360
フレームレート(FPS)	7	7	1
GOP サイズ	7 フレーム [1~60]	3 フレーム [1~60]	1 フレーム [1~60]
ビットレートコントロール	CBR	CBR	CBR
映像品質	中	中	高
ビットレート	2048 kbps	803 kbps	1000 kbps
MJPEG 品質	80	80	80
ブースト品質	オフ		
アナログ形式	NTSC		
出力帯域制限	オフ		
最大帯域幅	5000 kbps		

Supplementary

Use	オフ
Original stream	1次ストリーム
FPS	1/4

適用 キャンセル

項目	内容
コーデック	映像の圧縮タイプを選択します。 選択: H.265 / H.264 / MJPEG
コーデックプロファイル	圧縮のプロファイル種別を選択します(コーデックが H.264 のときのみ)。 選択: Baseline / Main / High
サイズ	ストリームの解像度(画像サイズ)を選択します。 選択: 2592x1922 / 2592x1520 / 2560x1440 / 2304x1296 / 2048x1536 / 1920x1080 / 1280x1024 / 1024x768 / 1280x720 / 704x576 / 704x480 / 640x480 / 640x360 / 352x288 / 352x240 ※ストリーム 2 およびストリーム 3 は 640x480 / 640x360 / 352x288 / 352x240
フレームレート	フレームレートを選択します。 選択: 1~30
GOP サイズ	I フレームの間隔を設定します。 入力: 1~60 ※数値が大きい程帯域を節約できますが、映像品質に影響がでる場合があります。 <u>フレームレートと同じ値に設定することを推奨します。</u>
ビットレートコントロール	ビットレートの種類を選択します。 選択: CBR / VBR / VBR+ ※VBR または VBR+は動きの少ないシーンでデータ量を抑えることができますが、激しい動きなどで映像に乱れが生じる場合があるため、 <u>CBR に設定することを推奨します。</u>
映像品質	映像品質を選択します(ビットレートコントロールが VBR のときのみ)。 選択: 低 / 中 / 高
ビットレート	ビットレート(データ量)の目標値を設定します。 選択: 512~15000 ビットレート値が低い程、帯域の節約になりますが、映像品質に影響がでる場合があります。
MJPEG 品質	MJPEG の品質を選択します(コーデックが MJPEG のときのみ)。 選択: 1~100

ブースト品質	<p>イベント(モーションまたはアラーム入力)時に、設定した自動的に設定した映像品質に切り替えます(ビットレートコントロールが VBR+のときは使用不可)。</p> <p>選択: オフ / オン</p> <p>オンにした場合は、以下の 3 項目を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブースト FPS 選択: 1~30 ・ブーストビットレート 入力: 512~15000 ・ブースト GOP サイズ 入力: 1~60
アナログ形式	<p>アナログ出力端子の出力形式を選択します。</p> <p>選択: NTSC / PAL</p>
出力帯域制限	<p>オンにすると、出力する最大ビットレートを制限します。</p> <p>選択: オフ / オン</p>
最大帯域幅	<p>出力帯域制限をオンにしたときの最大ビットレート値を設定します。</p> <p>入力: 1000~30000</p>

Supplementary の項目

項目	内容
Use	<p>オンにすると、ライブ表示中のフレームレートを抑え、ブラウザ等の負荷を軽減します。</p> <p>選択: オフ / オン</p>
Original stream	<p>ストリーム 1 またはストリーム 2 のどちらを対象に設定するかを選択します。</p> <p>選択: 1 次ストリーム / 2 次ストリーム</p>
FPS	<p>フレームレートを抑える程度を設定します。</p> <p>選択: 1/2 、 1/4</p>

4-1-1 関心領域 (ROI)

■ カメラ > コーデック設定 > 関心領域 (ROI)

関心領域 (ROI) の設定をします。

関心領域を設定した場合、それ以外の領域の画質を下げてデータ量を抑えることができます。

カメラ >
コーデック設定

コーデック設定 関心領域 (ROI)

関心領域 (ROI)

ROIモード オフ

背景画質 低

ROI エリア設定

関心がある領域 関心がない領域

オールクリア

ノート：ノート：エリアが重複している場合、数字が小さい方が優先されます。

エリア1 エリア2 エリア3 エリア4 全体領域

エリア5 エリア6 エリア7 エリア8

適用 キャンセル

項目	内容
ROI モード	関心領域の有効/無効を設定します。 選択： オフ / 手動。
背景画質	「低」から変更できません。

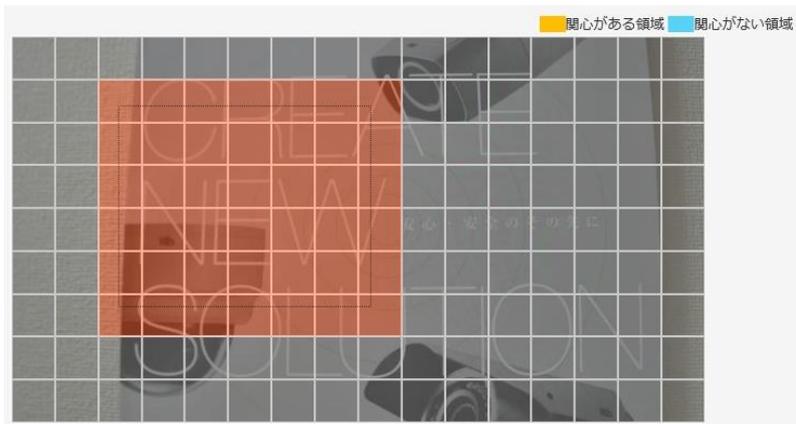
【関心領域の設定方法】

関心領域は8つのエリアを指定することができます。

- ① エリア1～エリア8のどれを設定するかを選択してください。

エリア1 エリア2 エリア3 エリア4
 エリア5 エリア6 エリア7 エリア8

- ② カメラ画面上で、関心がない領域(画質を下げてデータ量を抑えたい領域)をドラッグ&ドロップでエリアを指定してください。



- ③ 「関心がない領域」を選択して「OK」をクリックしてください。

ROI

関心がある領域:

関心がない領域
 関心がある領域

ノート: ノート: エリアが重複している場合、数字が小さい方が優先されます。

- ④ 同様にエリア1～エリア8の残りの領域(必要に応じて)を選択してください。

※ 設定を削除する際は または を押してください。

- ⑤ 画面下部の をクリックして設定を保存してください。

4-1-2 映像設定

■ カメラ > 映像設定 > 映像設定

カメラの明るさやホワイトバランス、デイ&ナイトの設定をすることができます。

カメラ > 映像設定

映像設定 露光設定 レンズ調整

CREATE NEW SOLUTION

ホワイトバランス調整

ホワイトバランスモード 自動

手動 WB モード 室内

デイ & ナイト

デイ/ナイトモード 自動 0秒

IR LED 自動

可変IR オフ

デイ/ナイト感度

デイ→ナイト 4

ナイト→デイ 7

IR LED照明レベル 255

明るさ 15

コントラスト 15

彩度 15

シャープネス 8

映像反転 フリップ(水平+垂直)

適用 キャンセル

項目	内容
	クリックするとマルチウィンドウでライブ画面を表示します。
明るさ	カメラの明るさを調整します。 選択: 0~30
コントラスト	カメラのコントラストを調整します。 選択: 0~30
彩度	カメラの彩度を調整します。 選択: 0~30

シャープネス	カメラのシャープネスを調整します。 選択: 1~15
映像反転	映像を反転/回転させる設定をします。 選択: オフ / 水平 / 垂直 / フリップ(水平+垂直)
ホワイトバランスモード	ホワイトバランスモードを選択します。 選択: 手動 / 自動 / オートワイド ・手動を選択すると「室内 / 蛍光灯 / 屋外」からシーンを選択し、被写体の色合いが変化してもホワイトバランスが固定されます。 ・自動を選択すると被写体の色合いが変化に合わせて自動的にホワイトバランスを調整します。 <u>※特別な場合でない限り、自動に設定することを推奨します。</u> ・オートワイドを選択すると「自動」よりも広い範囲でホワイトバランスを調整します。色合いの変化が激しいシーンで使用してください。
手動 WB モード	ホワイトバランスモードを「手動」に設定した際にシーンを選択します。
デイ/ナイトモード	デイ&ナイトの動作を設定します。 選択: デイ / ナイト / 自動 / スケジュール / External ・デイを選択すると、常時カラーで撮影し IR LED は動作しません。 ・ナイトを選択すると、常時モノクロで撮影します。 ・自動を選択すると、被写体の照度の変化によってカラー/モノクロを自動的に切り替えます。 <u>※特別な場合でない限り、自動に設定することを推奨します。</u> ・スケジュールを選択すると、「Day Time」の設定欄が表示されます。  この時刻の範囲内はカラーで撮影し、それ以外の時刻はモノクロで撮影します。 ・External は使用することができません。
〇秒	デイ&ナイトモードを「自動」にした際、カラーからモノクロに切り替える遅延時間を設定します。 選択: 0秒 / 5秒 / 10秒 / 15秒 / 30秒 / 60秒
IR LED	モノクロになった際に IR LED を照射するかどうかを設定します。 選択: 自動 / オフ <u>※特別な場合でない限り、自動に設定することを推奨します。</u>
可変 IR	可変 IR (SMART IR) 機能の動作を設定します。 選択: オン / オフ ・オンにすると、被写体からの反射量によって IR LED の光量を自動調整し、被写体の白飛びを回避します。 ・オフにすると、IR LED の光量を一定にします。

<p>デイ→ナイト</p>	<p>デイ&ナイトモードを「自動」に設定した際のカラーからモノクロに切り替える照度のレベルを設定します。 選択：0～7 数値が高いほうが、照度がより明るいタイミングでモノクロに切り替わります。</p>
<p>ナイト→デイ</p>	<p>デイ&ナイトモードを「自動」に設定した際のモノクロからカラーに切り替える照度のレベルを設定します。 選択：3～10 数値が高いほうが、照度がより明るいタイミングでカラーに切り替わります。 ※デイ→ナイトの数値より「3」以上大きく設定する必要があります。</p>
<p>IR LED 照明レベル</p>	<p>可変 IR を「オフ」にした際の IR LED の光量を設定します。 選択：25～255</p>

4-1-3 露光設定

■ カメラ > 映像設定 > 露光設定

カメラのシャッタースピードや WDR などを設定することができます。

カメラ > 映像設定

映像設定 露光設定 レンズ調整



露光設定

露光モード 自動

ACGゲイン 0

電子シャッタースピード 30

最大AGC 高中

ベースシャッタースピード 1/30

最大シャッタースピード 1/30

スローシャッター オフ

フリッカレスモード オフ

アイリス制御 自動

イメージ向上

逆光補正 オフ

WDRコントロール オフ

DNRコントロール 自動 - 中

デフォッグコントロール オフ

適用 キャンセル

項目	内容
露光モード	シャッタースピードのモードを選択します 選択: 手動 / 自動 / 自動(動作優先順位) ・手動を選択すると、シャッタースピードを固定します ・自動を選択すると、被写体の照度によってシャッタースピードを自動的に調整し最適な明るさで撮影します。 <u>※特別な場合でない限り、自動に設定することを推奨します。</u> ・自動(動作優先順位)を選択すると、「自動」に比べより速い動きに追従できるようにシャッタースピードを自動的に調整します
AGC ゲイン	露光モードを「手動」に設定した際、画像の明るさを自動調整する AGC (オートゲインコントロール) のレベルを調整します 入力: 0~36
電子シャッタースピード	露光モードを「手動」に設定した際のシャッタースピードを設定します 入力: 4~2,000
最大 AGC	画像の明るさを自動調整する AGC (オートゲインコントロール) の最大レベルを設定します 選択: 低 / 低中 / 高中 / 高 / 制限なし ※高いレベルに設定すると画像が明るくなりますが、ノイズが発生する可能性があるため、日中の明るい環境で画像を確認しながら調整してください
ベースシャッタースピード	露光モードが「自動」のときの基準となるシャッタースピードを設定します 選択: 1/30, 1/60, 1/120, 1/180, 1/240, 1/300, 1/360, 1/500, 1/800, 1/1000, 1/1500, 1/2000, 1/2500, 1/3000, 1/4000, 1/5000 ※速い値に設定すると素早い動きの被写体をブレなく撮影することができますが、画像が暗くなります
最大シャッタースピード	露光モードが「自動」のときの最大のシャッタースピードを設定します 選択: 1/30, 1/60, 1/120, 1/180, 1/240, 1/300, 1/360, 1/500, 1/800, 1/1000, 1/1500, 1/2000, 1/2500, 1/3000, 1/4000, 1/5000
スローシャッター	スローシャッターを設定します 選択: オフ / x2 / x4 / x8 スローシャッターを使用するとより暗い環境で明るく撮影できますが、素早い動きの被写体があった場合に残像が残ることがあります
フリッカレスモード	フリッカレスの設定をします 選択: オフ / 50Hz / 60Hz 有効にすると、蛍光灯のある部屋で撮影する際の映像のちらつきをおさえることができます。東日本の場合は 50Hz に、西日本の場合は 60Hz に設定してください

アイリス制御	<p>オートアイリス機能の設定をします 選択: 自動 / 手動 / 最高 / 深度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動を選択すると、周囲の照度変化に応じて絞りを自動調整します ・※特別な場合でない限り、自動に設定することを推奨します。 ・手動を選択すると、絞りが固定され画像の明るさ調整をシャッタースピードのみに委ねます ・最高を選択すると、絞りを開放状態になります ・深度を選択すると、絞りが閉じた状態になります
逆光補正	<p>逆光補正機能の設定をします。有効にすると、逆光による白飛びや黒つぶれを軽減することができます。</p> <p>選択: オフ / アダプティブ / 下エリア / 中間エリア / 上エリア / 左エリア / 右エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アダプティブを選択すると、画像上で自動的に逆光を捉え補正します ・逆光が発生する位置が画像上である程度固定になる場合は、中央/下/上/左/右の各エリアを選択してください
WDRコントロール	<p>WDR(ワイドダイナミックレンジ)の設定をします。有効にすると、暗い画像と明るい画像を合成することにより、ダイナミックレンジを拡大します。エントランスなど強い光が差し込む環境で、白飛びや黒つぶれを軽減することができます。</p> <p>選択: オフ / オン</p>
DNRコントロール	<p>DNR(デジタルノイズリダクション)の設定をします</p> <p>選択: オフ / 自動-低 / 自動-中 / 自動-高 / 手動-低 / 手動-中 / 手動-高</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動(低/中/高)を選択すると、画像のノイズを判断し自動的にノイズを除去します ・手動(低/中/高)を選択すると、固定のレベルでノイズを除去します
デフォッグコントロール	<p>デフォッグ(霧除去)機能の設定をします。</p> <p>有効にすると、霧や霏が発生する環境で画像への影響を軽減することができます。</p> <p>選択: オフ / 低 / 中 / 高</p>

4-1-4 レンズ調整

■ カメラ > 映像設定 > レンズ調整

カメラのレンズのズームやフォーカスを調整することができます。

カメラ > 映像設定

映像設定 露光設定 レンズ調整

フォーカス自動調整
 デイ&ナイト オン

指定した領域に画面をドラッグする。 エリア初期値

指定されたフォーカス領域は、ズーム位置が変更されたり、解像度の設定が変更される場合に初期化される可能性があります。

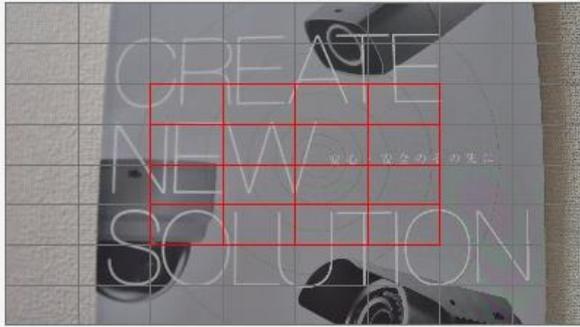
ズーム ワイド - + テレ 453 [0 - 1319] ショー... ワンプッシュ
 フォーカス 近距離 - + 遠距離 2257 [0 - 2843] ショー... ホーム
 アイリス 自動モード

適用 キャンセル

項目	内容
デイ&ナイト	デイ&ナイト動作(カラー・モノクロ切替)時に自動的にフォーカス調整をするかどうかを設定します。 選択: オン / オフ 「オン」で運用中に日数が経過してフォーカスがずれる場合は、「オフ」にしてフォーカスを固定してください。

【レンズのズーム・フォーカスを合わせる手順】

① カメラ映像の中からフォーカスを合わせる場所を、ドロップ&ドロップで選択してください。



② 以下のようにズーム位置・フォーカス位置を調整してください。

ズームを任意の位置に合わせます

ズームアウト

ズームイン

ズーム位置を数値で入力し
ボタンを押すとその位置に移動します

現在のズーム位置で
フォーカスを合わせます

ズーム

ワイド -

+

テレ

453 [0-1319]

ショー...

ワンプッシュ

フォーカス

近距離 -

+

遠距離

2257 [0-2843]

ショー...

ホーム

ズームおよびフォーカスを初期位置(ワイド端)に戻します(初期化)

フォーカスを手前に

フォーカスを奥に

フォーカスを任意の位置に合わせます

ズーム位置を数値で入力し
ボタンを押すとその位置に移動します

自動モード

※ズーム操作後、オートフォーカス機能により自動的にフォーカスを合わせます。オートフォーカス中は絞りが自動的に開放します。

※アイリスは「自動」です。

<< 注意 >>

フォーカスの自動調整は、画像内の輪郭成分を元に判別して調整しているため、ご希望のフォーカス位置に調整されない場合があります。フォーカスの自動調整後は、フォーカス位置を確認してください。また、必要に応じて、フォーカスを微調整してください。

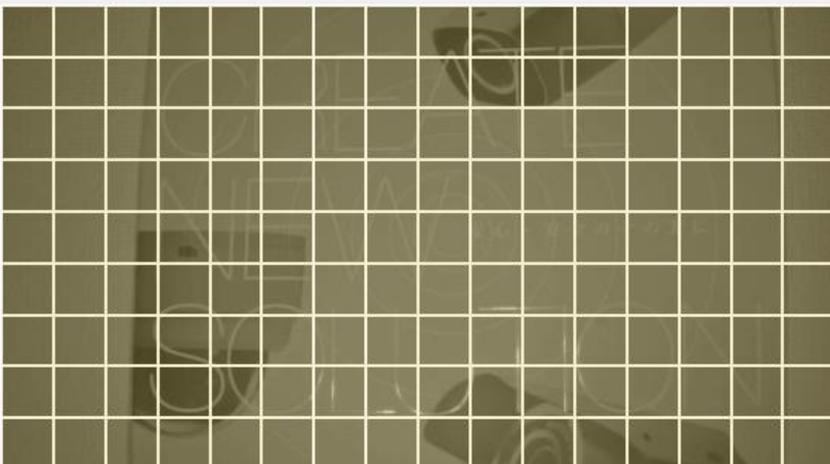
4-1-5 モーションセンサー

■ カメラ > モーションセンサー

カメラのモーション検知機能の設定をします。

カメラ >
モーションセンサー

モーションセンサー



全て選択 全て解除

モーションモード

モーション スマートモーション

モーション構成

エリア1 エリア2 エリア3 エリア4

感度(デイ) 15 ▼

感度(ナイト) 13 ▼

適用 キャンセル

項目	内容
感度(デイ)	昼(カラー時)のモーション検知の感度を設定します。 選択: 1~30
感度(ナイト)	夜(モノクロ時)のモーション検知の感度を設定します。 選択: 1~30

【モーション検知エリアを設定する手順】

モーション検知エリアは4つまで設定することができます。

4つのエリアのうちいずれかに動きを検知すると発報(イベントが発生)します。

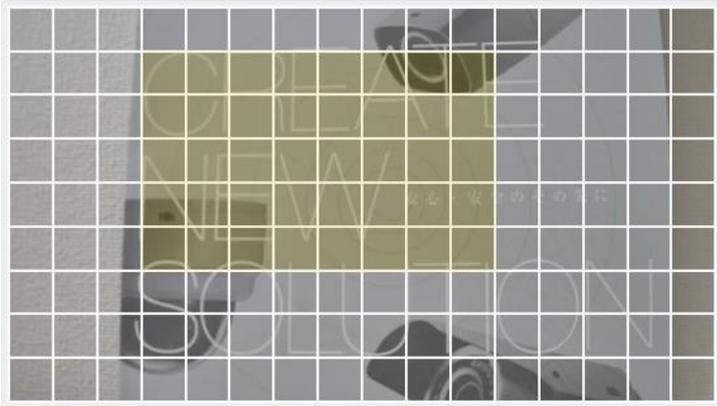
※初期設定では「エリア1」が全範囲有効、「エリア2」～「エリア4」が全範囲無効となっています。

- ① 「エリア1」をクリックしてチェックを入れてください。



- ②  をクリックしてください。※全範囲がモーション検知無効になります。

- ③ モーション検知を有効にする範囲をドラッグ&ドロップで設定してください。



- ④ ①～③と同様に、「エリア2」～「エリア4」を設定してください。

- ⑤  をクリックして設定を保存してください。

【スマートモーションを設定する手順】

スマートモーションは、「人」「車」「バイク(自転車)」を検知する機能です。

スマートモーション検知エリアは4つまで設定することができます。

4つのエリアのうちいずれかに、「人」「車」「バイク(自転車)」を検知すると発報(イベントが発生)します。

※初期設定では「エリア1」が全範囲有効、「エリア2」～「エリア4」が全範囲無効となっています。

- ① 「スマートモーション」をクリックしてチェックを入れてください。

モーション スマートモーション

- ② 「エリア1」をクリックしてチェックを入れてください。

エリア1 エリア2 エリア3 エリア4

- ③ をクリックしてください。※全範囲がモーション検知無効になります。

- ④ 黄色い枠の四隅の点をドラッグ&ドロップで動かし、スマートモーション検知を有効にする範囲を設定してください。



- ⑤ ①～③と同様に、「エリア2」～「エリア4」を設定してください。

- ⑥ 検知対象を「人」、「車」または「バイク(または自転車)」にチェックをいれて選択してください。

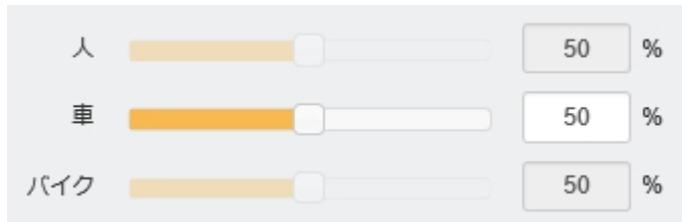
※ 複数選択可

モーション スマートモーション

⑦ それぞれの検知対象のしきい値を、スライドバーをドラッグ&ドロップして設定してください。

※ しきい値を大きくすると誤検知が減りますが、検知漏れが起こりやすくなります。

※ しきい値を小さくすると検知漏れが減りますが、誤検知が多くなります。



人	<input type="range" value="50"/>	50 %
車	<input type="range" value="50"/>	50 %
バイク	<input type="range" value="50"/>	50 %

⑧  をクリックして設定を保存してください。

スマートモーション機能に関する注意事項

- スマートモーション機能は、お客様自身の責任においてご利用ください。
- 撮影環境や被写体の性質や頻度によって検知精度が大きく変化します。システムでの運用時は必ず事前検証をおこない、検知精度を理解したうえで利用してください。
- 検知精度に関する苦情や精度向上に関するお問合せには対応できません。
- スマートモーション機能は、記録映像の検索再生を容易にするための補助機能です。誤検知の際にお客様の業務や財産に影響を与えるようなシステムでの利用は避けてください。
- スマートモーション機能での誤検知または未検知に関して、お客様に発生する一切の損害、お客様の損失利益その他の派生的または付随的損害、及び第三者からお客様になされた損害賠償請求に基づく損害については、当社は一切責任を負いません。

4-1-6 プライバシーマスク

■ カメラ > プライバシーマスク

カメラのプライバシーマスクの設定をします。

プライバシーマスクを有効にすると、画像上で隠したい部分を塗りつぶしプライバシーを保護することができます。



【プライバシーマスクを設定する手順】

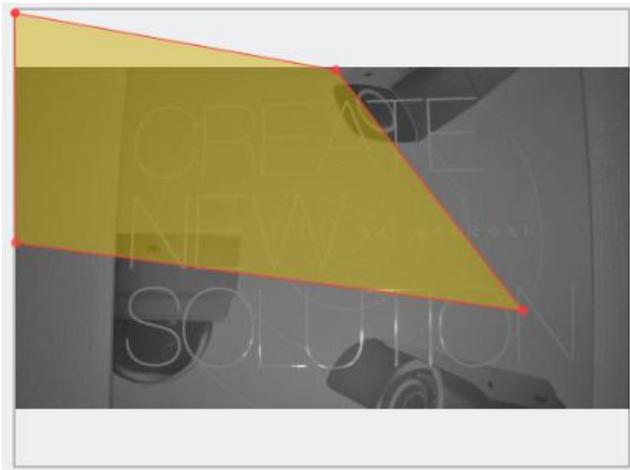
※初期設定では「エリア 1」が全範囲有効、「エリア 2」～「エリア 4」が全範囲無効となっています。

① 「エリア 1」をクリックしてチェックを入れてください。

エリア1 エリア2 エリア3 エリア4

② **全て選択** をクリックしてください。※全範囲にマスクがかかります。

③ 黄色い枠の四隅の点をドラッグ & ドロップで動かし、プライバシーマスクを有効にする範囲を設定してください。



④ 彩度 でマスク部分の色を設定してください。

選択: 黒 / 白 / グレー(薄い) / グレー(濃い) / 黄 / 赤 / 青 / 緑

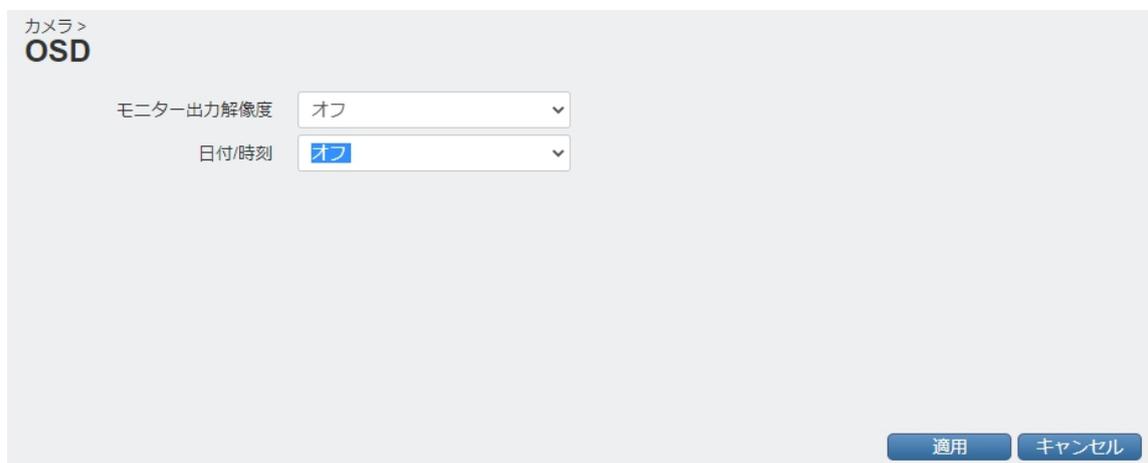
⑤ ①～③と同様に、「エリア 2」～「エリア 4」を設定してください。

⑥ **適用** をクリックして設定を保存してください。

4-1-7 OSD

■ カメラ > OSD

カメラの OSD (画面に表示する文字) の設定をします。



カメラ>
OSD

モニター出力解像度 オフ

日付/時刻 オフ

適用 キャンセル

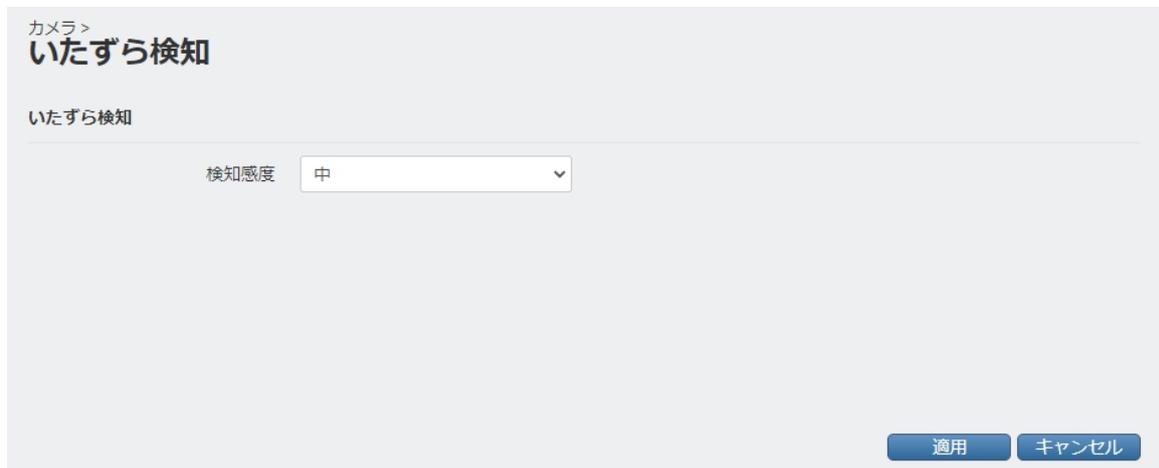
項目	内容
モニター出力解像度	オンにすると、カメラの出力解像度を画面右下に表示します。 選択: オン / オフ
日付/時刻	オンにすると、現在の時刻(カメラ内蔵の時計)を画面右下に表示します。 選択: オン / オフ

4-1-8 いたずら検知

■ カメラ > いたずら検知

いたずら検知機能の設定をします。

いたずら検知・・・カメラが布などで覆われたり、向きを変えられたりしたことを検知する機能です。



カメラ >
いたずら検知

いたずら検知

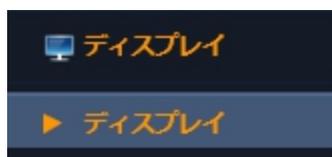
検知感度 中

適用 キャンセル

項目	内容
検知感度	いたずら検知の感度を設定します。 選択: オフ / 低 / 中 / 高 低にすると誤検知が減りますが検出漏れが生じやすくなり、高にすると検出漏れが生じにくくなりますが誤検知が増えます。中はその中間です。

4-2 ディスプレイ

画面表示言語の設定項目です。



4-2-1 ディスプレイ

■ ディスプレイ > ディスプレイ

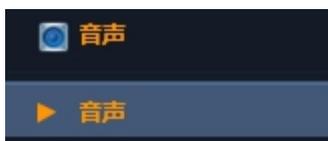
表示言語の設定ができます。



項目	内容
言語	表示言語を選択します。 選択: 英語 / 韓国語 / 日本語 / イタリア語 / フランス語 / スペイン語 / ドイツ語 / 台湾語 / ロシア語

4-3 音声

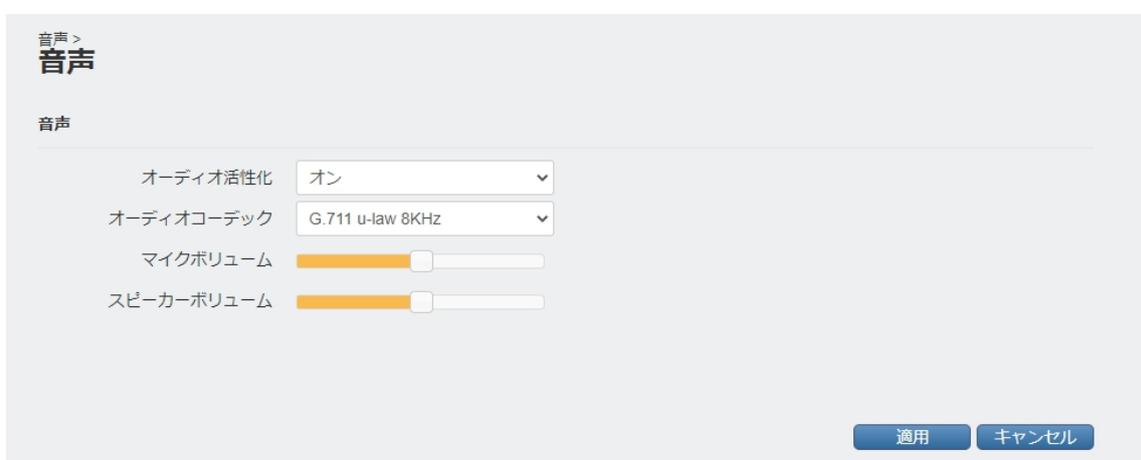
音声に関する設定項目です。



■ 音声 > 音声

音声送受信に関する設定ができます。

音声デバイス(マイク・スピーカー)の接続方法は取扱説明書-設置編-をご参照ください。



項目	内容
オーディオ活性化	音声送受信機能の有効/無効を設定します。 選択: オン / オフ
オーディオコーデック	音声圧縮方式を表示します(変更不可)。 固定: G.711 u-law 8kHz
マイクボリューム	スライダーを動かしてマイク(音声入力)の音量を調整します。 小←  →大
スピーカーボリューム	スライダーを動かしてスピーカー(音声出力)の音量を調整します。 小←  →大

4-4 ユーザー

ユーザーの作成・編集や各ユーザーの操作権限の設定ができます。



4-4-1 管理

■ ユーザー > 管理

各ユーザーのパスワード等の設定ができます。

A screenshot of a web application interface for user management. The page title is 'ユーザー > 管理'. Below the title is a table with columns: 'No.', 'ユーザーID', 'グループ', 'メール', 'メール通知', '編集', and '削除'. The first row contains the value '1' in the 'No.' column, 'ADMIN' in the 'ユーザーID' column, 'ADMIN' in the 'グループ' column, an empty field in the 'メール' column, a checkbox in the 'メール通知' column, an edit icon in the '編集' column, and an empty field in the '削除' column. Below the table is a button labeled '追加' (Add).

パスワードの設定方法およびユーザーの追加方法は次頁を参照してください。

【管理者パスワードの変更手順】

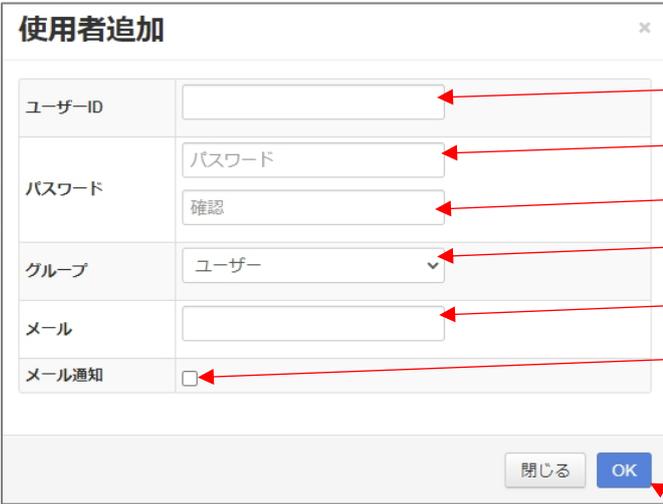
- ① 「編集」の下の  をクリックしてください。
- ② 「使用者修正」の画面が表示されるので、下記のように設定してください。



- ADMIN は変更不可
- 現在のパスワードを入力して「確認」を押してください
- 新しいパスワードを入力してください
- 新しいパスワードを再度入力してください
- 変更不可
- (任意)管理者のメールアドレスを入力してください
- (任意)メールでのイベント通知をする場合はクリックしてチェックを入れてください
- ※インターネット接続が必要です
- 最後にクリックして設定を保存してください

【ユーザーを追加する手順】

- ① ユーザーNo.の下の  をクリックしてください。
- ② 「使用者追加」の画面が表示されるので、下記のように設定してください。



- 新しく作成するユーザー名を入力してください
- 設定するパスワードを入力してください
- パスワードを再度入力してください
- 所属するグループを選択してください(次頁参照)
- (任意)ユーザーのメールアドレスを入力してください
- (任意)メールでのイベント通知をする場合はクリックしてチェックを入れてください
- ※インターネット接続が必要です
- 最後にクリックして設定を保存してください

【ユーザーを削除する手順】

- ① 削除するユーザー名の右端の  をクリックしてください。



4-4-2 グループ権限

■ ユーザー > グループ権限

グループごとの操作権限の設定ができます。

	マネージャー	ユーザー
イベント動作の制御	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
音声出力	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
マイク	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
システムリポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
工場出荷時設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
システム設定	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ユーザーは3つのグループのうちいずれかに所属することができます。

- ・ ADMIN すべての操作ができます(設定不可)。
- ・ マネージャー 下記から選択した操作が有効となり、それ以外は操作ができなくなります。
- ・ ユーザー 下記から選択した操作が有効となり、それ以外は操作ができなくなります。

項目	内容
イベント動作の制御	チェックを外すと、ライブ画面でのアラーム出力の ON/OFF 操作やイベントに関する設定ができなくなります。
音声出力	チェックを外すと、音声送話(PC 側マイクに話しかけ、カメラ側のスピーカーから音声出力する)ができなくなります。
マイク	チェックを外すと、音声受話(カメラ側マイクの音声を PC 側で聞く)ができなくなります。
システムリポート	チェックを外すと、設定画面から再起動ができなくなります。
工場出荷時設定	チェックを外すと、設定画面から工場出荷時設定に戻すことができなくなります。
システム設定	チェックを外すと、設定画面に入れなくなります。

4-5 ネットワーク

本機の IP アドレスや DDNS 等の設定ができます。



4-5-1 IP 設定 (IPv4)

- ネットワーク > IP 設定 > IPv4
IPv4 アドレス等の設定ができます。

ネットワーク >
IP設定

IPアドレス

IPv4 IPv6

DHCP

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

優先DNS

代替DNS

サービスポート

HTTPポート

RTSPポート

それぞれの項目に関する説明は次頁を参照してください。

項目	内容
DHCP	<p>チェックを入れると、利用可能な IP アドレスを自動取得します。</p> <p><u>注意）設定後は IP アドレスが変化し、カメラとの接続が中断します。</u> <u>再度接続する場合は 2 章を参照し、変更後のカメラの IP アドレスを確認してください。</u></p>
IP アドレス	<p>カメラの IP アドレスを入力してください。</p> <p><u>注意）設定後は IP アドレスが変化し、カメラとの接続が中断します。</u> <u>再度接続する場合は変更後のカメラの IP アドレスをブラウザに入力してください。</u> <u>注意）同一ネットワークにある他ネットワーク機器の IP アドレスと重複しないように十分にご注意ください。</u></p>
サブネットマスク	カメラのサブネットマスクを入力してください。
デフォルトゲートウェイ	カメラのデフォルトゲートウェイを入力してください。
優先 DNS	カメラの優先 DNS サーバーを入力してください。
代替 DNS	カメラの代替 DNS サーバーを入力してください。
HTTP ポート	<p>WEB ブラウザから本機にアクセスする際に使用するポート番号を入力してください(初期ポート: 80)。</p> <p><u>注意）同一ネットワーク内の他機器の設定と重複しないようにご注意ください。</u></p>
RTSP ポート	<p>ネットワークストリーミングに使用するポート番号を入力してください。(初期ポート: 554)</p> <p><u>注意）同一ネットワーク内の他機器の設定と重複しないようにご注意ください。</u></p>

4-5-2 IP 設定 (IPv6)

■ ネットワーク > IP 設定 > IPv6

IPv6 アドレスを使用する場合の設定ができます。

ネットワーク >
IP 設定

IPアドレス

IPv4 IPv6

IPv6 オフ ON(MANUAL) ON(AUTO)

リンクローカルアドレス

IPアドレス1 / 0

IPアドレス2 / 0

IPアドレス3 / 0

IPアドレス4 / 0

ゲートウェイ

優先DNS

代替DNS

サービスポート

HTTPポート 8300

RTSPポート 554

適用 キャンセル

それぞれの項目に関する説明は次頁を参照してください。

項目	内容
IPv6	IPv6 機能の有効/無効を設定してください。 オフ: IPv6 機能を無効にします。 ON(MANUAL): 本機の IPv6 アドレスを手動で設定します。 ON(AUTO): 本機の IPv6 アドレスをネットワークサーバーから自動で割り当てます。※ネットワークサーバーとの接続がない場合は、アドレスは設定されません。
リンクローカルアドレス	ネットワークサーバーから割り当てられた IPv6 アドレスが表示されます。 ※「IPv6」にて ON(MANUAL)を選択した場合は、設定できません。
IPv6 アドレス 1~4	本機の IPv6 アドレスを入力します。 ※「IPv6」にて ON(AUTO)を選択した場合は、設定できません。 注意) 同一ネットワークにある他ネットワーク機器の IP アドレスと重複しないように十分にご注意ください。
ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。 ※「IPv6」にて ON(AUTO)を選択した場合は、設定できません。
優先 DNS	優先 DNS サーバーアドレスを入力します。 ※「IPv6」にて ON(AUTO)を選択した場合は、設定できません。
代替 DNS	代替 DNS サーバーアドレスを入力します。 ※「IPv6」にて ON(AUTO)を選択した場合は、設定できません。
HTTP ポート	WEB ブラウザから本機にアクセスする際に使用するポート番号を入力してください(初期ポート: 80)。 注意) 同一ネットワーク内の他機器の設定と重複しないようにご注意ください。
RTSP ポート	ネットワークストリーミングに使用するポート番号を入力してください。(初期ポート: 554) 注意) 同一ネットワーク内の他機器の設定と重複しないようにご注意ください。

【 IPv6 アドレス使用時の注意 】

- WEB ブラウザからは「[http://\[IPv6 アドレス \]:ポート番号 /](http://[IPv6 アドレス]:ポート番号/)」で接続できます。
- 外部からIPv6 アドレスで接続する場合、ファイアウォールなどのセキュリティー設定の変更が必要となります。

詳しくは、インターネットサービスプロバイダーまたはルーターの製造元へご確認ください。

- 後述の弊社 DDNS サーバーは、IPv4 アドレス(または IPv4/IPv6 デュアルスタック)にのみ対応します。
- インターネットサービスプロバイダーによって使用可能なポート番号が異なる場合があります。
詳しくは、インターネットサービスプロバイダーへご確認ください。

4-5-3 DDNS

■ ネットワーク > DDNS

当社指定の DDNS サーバーを使用して、本機の IP アドレスを任意のドメイン名に変換することができます。

ネットワーク >
DDNS

DDNS 設定

DDNS オン

使用者設定 URL HTTP:// 00116f0009f4 .DVRLINK.NET

DDNS テスト

適用 キャンセル

項目	内容
DDNS	DDNS を利用する場合は「オン」に設定してください。
DVR 接続アドレス	本機へ外部からの接続する際のアドレスが表示されます。 ※ホスト名には本機の MAC アドレスが自動入力されます。 DDNSを利用する場合は、入力後に必ず「DDNS 接続テスト」をクリックしてください。

※ DDNS サービスのご利用について(免責事項)

DDNS サービスのご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用ください。

- ・DDNS サービスのご利用はお客様のもとでご利用ください。
- ・DDNS サービスを利用することにより発生した損害、または第三者に対して損害を与えた場合について当社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

4-5-4 メール

- ネットワーク > メール
メール通知先の設定ができます。

ネットワーク>
メール

電子メール設定

サーバー	<input type="text"/>
ポート	<input type="text" value="25"/>
ネットワークセキュリティ	<input type="text" value="オフ"/> ▼
ユーザー	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
電子メールアドレスのテスト	<input type="text"/>

項目	内容
サーバー	メール送信に使用するメールサーバーを入力してください。
ポート	メール送信に使用するポート番号を入力してください。
ネットワーク セキュリティ	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、「オン」に設定してください。 選択: オン / オフ
ユーザー	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、ユーザーを入力してください。
パスワード	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、パスワードを入力してください。
電子メールアドレスの テスト	テストメール用の送信先アドレスを入力してください。
送信テスト	クリックすると、上記アドレスにテストメールが送信されます。

4-5-5 UPnP

■ ネットワーク > UPnP

The screenshot shows a web-based configuration page for UPnP. At the top left, it says 'ネットワーク>' followed by 'UPnP' in a larger font. Below that, the text 'UPnP' is repeated. The main content area features a label 'UPnP' followed by a dropdown menu currently set to 'オン'. At the bottom right of the page, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

項目	内容
UPnP	UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能の有効・無効を設定します。 選択: オン / オフ <u>弊社ネットワークレコーダーとのプラグアンドプレイ(自動接続)機能を使用する場合はオンにしてください。</u>

4-5-6 ネットワークセキュリティ

- ネットワーク > ネットワークセキュリティ > ネットワークセキュリティ
ネットワークの保護に関する設定ができます。

ネットワーク >
ネットワークセキュリティ

ネットワークセキュリティ IP フィルター

RTSP 認証 DIGEST

WEBサーバーポート

HTTPS 有効 オフ

HTTP 認証 BASIC

適用 キャンセル

項目	内容
RTSP 認証	RTSP の認証方式を選択してください。 選択: オフ / BASIC / DIGEST ※接続するネットワークレコーダーの仕様に合わせて設定してください。
HTTPS 有効	「オン」にすると、Web ブラウザで本機へアクセスする際に HTTPS で接続が可能になります。 オンにした場合は、HTTP での遠隔接続ができなくなります。 選択: オフ / オン
HTTP 認証	HTTP 認証の方式を選択してください。 選択: BASIC / DIGEST

4-5-7 IP フィルター

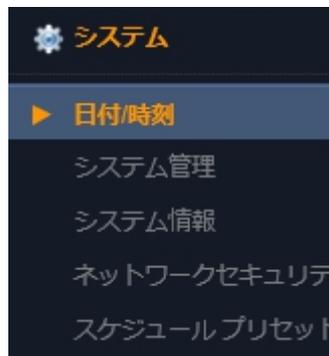
■ ネットワーク > ネットワークセキュリティー > IP フィルター

本機への接続制限(ブラックリストおよびホワイトリスト)の設定ができます。

項目	内容
IP フィルター有効	IP フィルターを有効にするか無効にするかを選択してください。 選択: オフ / オン
IP フィルタールール	IP フィルターの種類を「許可」または「拒否」から選択してください。 選択: 許可リスト / 拒否リスト
種類 / リスト	<p>編集 : 登録済みの IP アドレスを編集します。</p> <p>削除 : 登録済みの IP アドレスを削除します。</p> <p>追加 : IP アドレスを新たにリストに追加します。</p> <p>編集 または 追加 をクリックすると下記の設定画面が表示されます。許可リストまたは拒否リストに登録する IP アドレスを設定してください。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">追加</p> <p>種類 <input type="text" value="IPv4アドレス"/> ▼</p> <p>アドレス <input type="text" value="192.168.0.1"/> ×</p> <p style="text-align: center;"><input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/></p> </div>

4-6 システム

本機の時計設定やファームウェア更新などができます。



4-6-1 日付/時刻

■ システム > 日付/時刻

日付・時刻、タイムサーバー同期などの設定ができます。

システム >
日付/時刻

日時設定

日時	<input type="text" value="2022 / 01 / 31 10:40:58"/>
日付表示形式	<input type="text" value="年/月/日"/> ▼
時刻表示形式	<input type="text" value="24時間"/> ▼

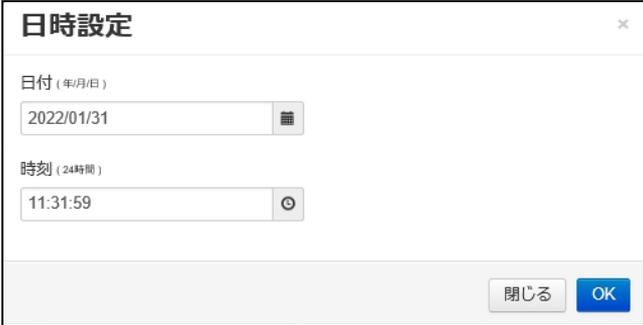
NTPサーバー

タイムサーバー	<input type="text" value="pool.ntp.org"/>
自動時刻同期	<input type="text" value="オフ"/> ▼ <input type="button" value="同期"/>
同期化時間	<input type="text" value="00:00"/> ▼

タイムゾーン/サマータイム

タイムゾーン/サマータイム	<input type="text" value="GMT+09:00 Asia/Tokyo"/> ▼
サマータイム	<input type="text" value="オフ"/> ▼

各項目の詳細は次頁を参照してください。

項目	内容
日時	<p>クリックすると、日付・時刻の設定ができます。</p>  <p>時刻の設定手順は次頁を参照してください。</p>
日付表示形式	<p>日付の表示形式を選択してください。 選択：年/月/日、月/日/年、日/月/年</p>
時計表示形式	<p>時刻の表示形式を選択してください。 選択：24 時間、午前/午後</p>
タイムサーバー	<p>時刻同期を使用する場合、NTP サーバーのアドレスを入力してください。</p>
自動時刻同期	<p>NTP による時刻同期を使用する場合はオンに設定してください。 選択：オフ / オン ※インターネット接続がない場合はオフにしてください。</p> <p> をクリックすると直ちに時刻同期を実行します。</p>
同期化時間	<p>NTP による時刻同期をおこなう時刻を設定してください。 選択：00:00、01:00、02:00、・・・23:00</p>
タイムゾーン/サマータイム	<p>使用する地域のタイムゾーンを設定してください。 <u>※日本での使用の場合、「GMT+09:00 Asia/Tokyo」から変更しないでください。</u></p>
サマータイム	<p>サマータイムの有効/無効を設定してください。 <u>※日本での使用の場合、「オフ」から変更しないでください。</u></p>

【時刻合わせの手順】

- ① 日時の表示部をクリックしてください。

2022 / 01 / 31 10:40:58

日時設定ウィンドウが表示されます。



日時設定

日付 (年/月/日)
2022/01/31

時刻 (24時間)
11:31:59

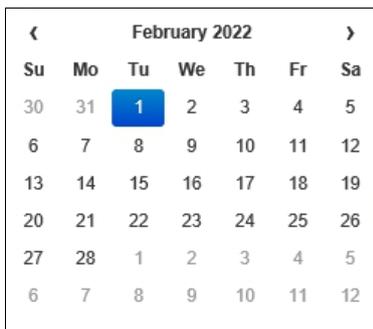
閉じる OK

- ② 日付の右側のアイコンをクリックしてください。

2022/01/31



表示されるカレンダーから、現在の日付をクリックしてください。



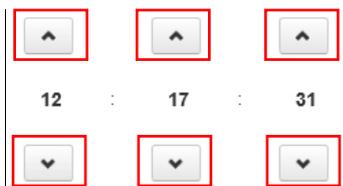
February 2022						
Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

- ③ 時刻の右側のアイコンをクリックしてください。

11:31:59



表示される時刻設定ウィンドウの上下の矢印をクリックして現在の時刻に合わせてください。



↑ ↑ ↑

12 : 17 : 31

↓ ↓ ↓

- ④  をクリックして設定を保存してください。

4-6-2 システム管理

■ システム > システム管理

ファームウェアの更新や設定の初期化などができます。

システム管理

システム管理

FW アップグレード

工場出荷時設定

メニュー設定のコピー/ロード

システムリブート

システムID

パスワード有効期間 ▼

項目	内容
FW アップグレード	本機のファームウェアのアップグレードができます。
工場出荷時設定	本機の設定を工場出荷状態に戻す(初期化する)ことができます。 ※ネットワーク設定は維持されます。
メニュー設定の コピー/ロード	本機の設定を保存したり、設定データを読み込んだりすることができます。
システムリブート	本機の再起動ができます。
システム ID	本機のシステム ID を設定することができます。
パスワード有効期間	設定すると、パスワード決定後から時間経過でパスワード変更を促すメッセージを表示します。 選択: なし / 1ヶ月 / 2ヶ月 / 4ヶ月 / 6ヶ月

各項目の詳細は次頁以降を参照してください。

【ファームウェアアップグレードの手順】

機能の追加や修正のため本機のファームウェアを更新することができます。

ファームウェアのファイルは弊社ホームページ等からダウンロードしてご使用ください。

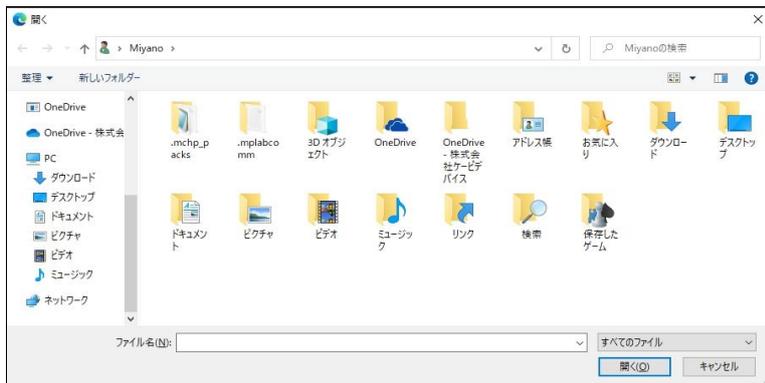
- ① F/W アップグレードの **実行** をクリックしてください。

「F/W アップグレード」ウィンドウが表示されます。



- ② **参照...** をクリックしてください。

- ③ ファームウェアのファイル(bin形式)を選択し **開く(O)** をクリックしてください。



- ④ **アップロード** をクリックしてください。

アップグレードが進行し、完了すると自動的に機器が再起動します。



【工場出荷時設定に戻す】

下記のように本機の設定を工場出荷状態に戻す(ネットワーク設定を除く)ことができます。

※ネットワーク設定を含めた初期化は、カメラ本体のボタンから可能です。手順は各製品の取扱説明書-設置編-を参照してください。

- ① 「工場出荷時設定」の  をクリックしてください。

以下の画面が表示されます。



- ②  をクリックしてください。

- ③ 以下のように初期化が開始し、完了すると本機が自動的に再起動します。



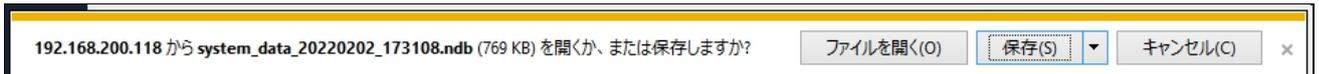
【設定値の保存(書き出し)】

下記の手順で本機の設定値をPCに保存することができます。

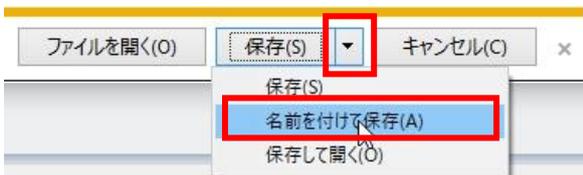
複数のカメラを同じ設定にする際や、万が一の故障に備えて設定値をバックアップしておく際に使用してください。

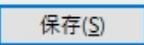
- ① 「メニュー設定のコピー/ロード」の  をクリックしてください。

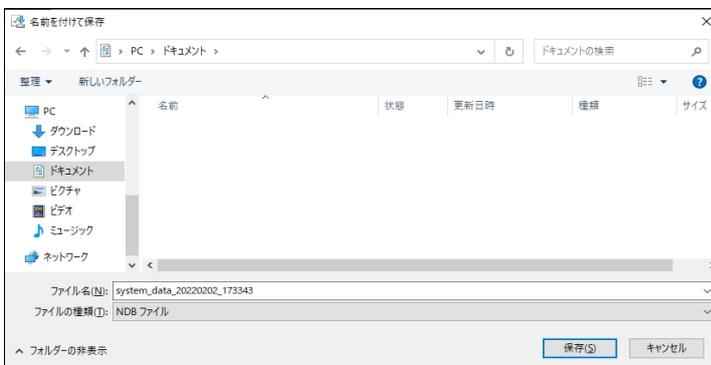
以下のポップアップが表示されます。



- ② 以下をクリックしてください。



- ③ ファイルの保存場所を選択し、 をクリックしてください。



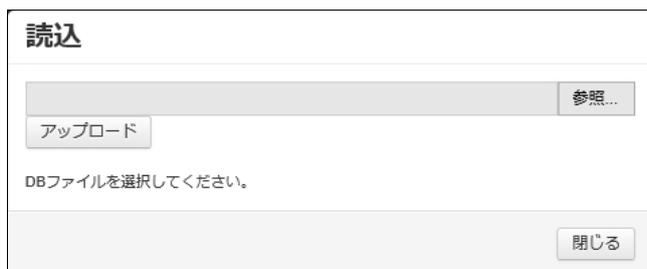
【設定値の読み込み】

下記の手順で本機に設定ファイルを読み込むことができます。

複数のカメラを同じ設定にする際や、カメラを交換・修理された際に使用してください。

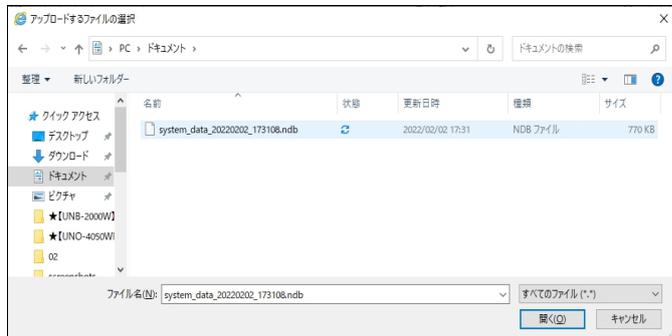
- ① 「メニュー設定のコピー/ロード」の **読み込み** をクリックしてください。

以下の画面が表示されます。



- ② **参照...** をクリックしてください。

- ③ 読み込む設定ファイルを選択し **開く(O)** をクリックしてください。



- ④ **アップロード** をクリックしてください。

設定ファイルの読み込みが開始し、完了すると自動的に本機が再起動します。



4-6-3 システム情報

- システム > システム情報
本機の設定情報の確認ができます。

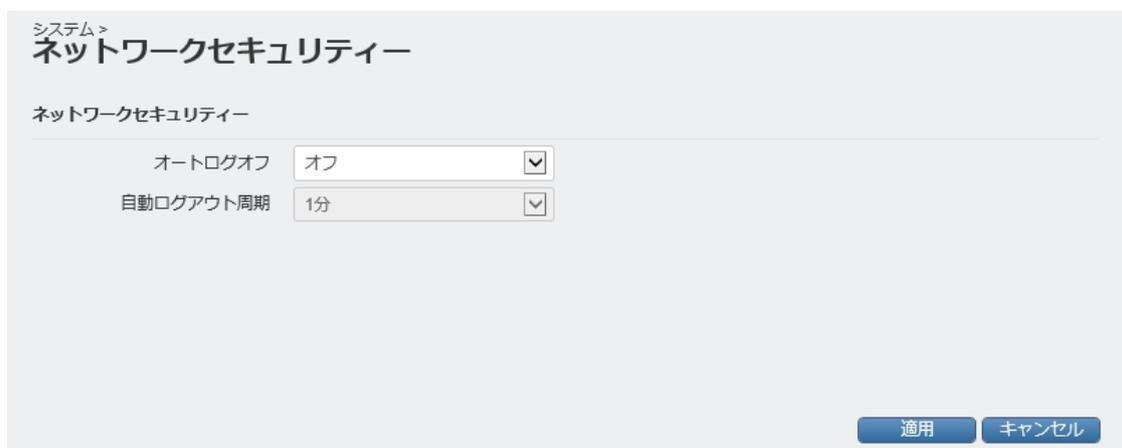
システム >
システム情報

システム情報

モデル	N650A
F/Wバージョン	89100.1.0170.100
MACアドレス	00:11:6F:00:09:F3
リンクローカルアドレス	
IPアドレス	192.168.200.118 (STATIC)
ゲートウェイ	192.168.200.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DNSサーバー1	192.168.200.1
DNSサーバー2	1.1.1.1
HTTPポート	80
RTSPポート	554
DDNSサーバー	DVRLINK.NET
IR LED	可変IR

4-6-4 ネットワークセキュリティ

- システム > ネットワークセキュリティ
オートログオフ機能の設定ができます。



システム >
ネットワークセキュリティ

ネットワークセキュリティ

オートログオフ オフ

自動ログアウト周期 1分

適用 キャンセル

項目	内容
オートログオフ	オンにすると、カメラへのログインを時間経過で自動的に解除(ログオフ)します。 選択: オフ / オン
自動ログアウト周期	オートログオフを有効にしたときの、ログオフまでの時間を設定してください。 選択: 1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 60分 / 120分

4-6-5 スケジュールプリセット

■ システム > スケジュールプリセット

イベント設定で使用するスケジュールの定義の設定ができます。

No.	名前	種類	開始時刻	終了時刻	削除
1	always	毎日 <input type="button" value="▼"/> <input type="button" value="✎"/>	00:00 <input type="button" value="▼"/>	00:00 <input type="button" value="▼"/>	<input type="button" value="🗑"/>
2	weekday	曜日 <input type="button" value="▼"/> <input type="button" value="✎"/>	月. 00:00 <input type="button" value="▼"/>	土. 00:00 <input type="button" value="▼"/>	<input type="button" value="🗑"/>
3	weekend	曜日 <input type="button" value="▼"/> <input type="button" value="✎"/>	土. 00:00 <input type="button" value="▼"/>	月. 00:00 <input type="button" value="▼"/>	<input type="button" value="🗑"/>

初期状態で No.1～No.3 のスケジュールが登録されています。

No.1 always: 毎日(全曜日)の全時間帯が有効となるスケジュールプリセットです。

No.2 weekday: 月～金曜日の全時間帯が有効となるスケジュールプリセットです。

No.3 weekend: 土・日曜日の全時間帯が有効となるスケジュールプリセットです。

次節で説明するイベント設定で、設定したスケジュールプリセットごとにイベント動作を有効/無効に設定することができます。

【登録済みのスケジュールプリセットを編集する】

- ① 編集する行の「種類」の をクリックして、毎日または曜日を選択してください。
- ② 上記で「毎日」を選択した場合は、 をクリックして、下記画面で有効にする曜日をクリックしてチェックを入れてください。

全て選択 全て削除 週中 週末

日. 月. 火. 水. 木. 金. 土.

OK

- ③ 開始時刻と終了時刻を設定してください。

【新しくスケジュールプリセットを登録する】

- ① 画面左上の  をクリックしてください。
- ② 名前を入力してください。例：「営業時間」、「月火水」など
- ③ 「種類」の  をクリックして、毎日または曜日を選択してください。
- ④ 上記で「毎日」を選択した場合は、 をクリックして、下記画面で有効にする曜日をクリックしてチェックを入れてください。



この画面には、曜日を選択するためのボタンとチェックボックスがあります。ボタンには「全て選択」、「全て削除」、「週中」、「週末」があります。チェックボックスには「日」、「月」、「火」、「水」、「木」、「金」、「土」があり、「月」から「金」までがチェックされています。下部には「OK」ボタンがあります。

- ⑤ 開始時刻と終了時刻を設定してください。

設定例 1) 月～金曜日の営業時間(9:00-17:00)に設定する場合

- ・ 種類を「毎日」にし、月～金曜日にチェックを入れます。



この画面は、設定例1に示す通り「月」から「金」までがチェックされています。

- ・ 開始時刻を「09:00」に、終了時刻を「17:00」に設定します。



この画面には、スケジュールの登録情報が表示されています。ID: 4, 名前: 営業時間, 種類: 毎日, 編集ボタン, 開始時刻: 09:00, 終了時刻: 17:00, 削除ボタン。

設定例 2) 月～水曜日の全時間帯に設定する場合

- ・ 種類を「曜日」にします。
- ・ 開始時刻を「月 00:00」に、終了時刻を「木 00:00」に設定します。



この画面には、スケジュールの登録情報が表示されています。ID: 5, 名前: 月火水, 種類: 曜日, 編集ボタン, 開始時刻: 月 00:00, 終了時刻: 木 00:00, 削除ボタン。

4-7 イベント

イベントを検知した際の通知方法などの設定ができます。



※ アラーム入出力端子の接続方法は、各カメラの取扱説明書-設置編-を参照してください。

4-7-1 アクション - アラーム出力

■ イベント > アクション > アラーム出力
イベント発生時のアラーム出力の設定ができます。

イベント>
アクション

アラーム出力 [イメージ发送](#)

ID	名前	動作	スケジュール	種類	持続時間
1	AO1	オフ <input type="button" value="v"/>	<input type="button" value="編集"/>	N/O <input type="button" value="v"/>	5秒 <input type="button" value="v"/>

各項目の内容は次頁を参照してください。

項目	内容
名前	端子の名称を入力できます。
動作	アラーム出力を有効にするか無効にするかを設定してください。 選択: オフ / オン
スケジュール	<p>アラーム出力を有効にするスケジュールを設定してください。</p> <p> をクリックすると以下のウィンドウが表示されます。</p> <div data-bbox="478 542 1273 855" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>スケジュール</p> <p><input type="checkbox"/> always <input type="checkbox"/> weekday <input type="checkbox"/> weekend</p> <p style="background-color: #ffffcc; padding: 2px;">ノート - 新たなプリセットを作成するため、スケジュールプリセットに移動。</p> <p style="text-align: right;">閉じる OK</p> </div> <p>アラーム出力を有効にするスケジュールにチェックを入れて、「OK」をクリックしてください。</p> <p>※スケジュールプリセットの設定は「4-6-5 スケジュールプリセット」を参照してください。</p>
種類	<p>アラーム出力の種類を設定してください。</p> <p>※接続する警報機器等の仕様に合わせてください。</p> <p>選択: N/O、N/C</p> <p>NO …… 通常時、アラーム出力端子を開放状態にします。</p> <p>NC …… 通常時、アラーム出力端子を短絡状態にします。</p>
持続時間	<p>アラーム出力を継続させる時間を設定してください。</p> <p>選択: 復帰するまで / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 60 秒 / 120 秒 / 180 秒 / 300 秒</p>

4-7-2 アクション - イメージ発送

■ イベント > アクション > イメージ発送

イベント発生時に画像をFTPサーバーへ送信する設定ができます。

項目	内容
名前	端子の名称を入力できます。
種類	「FTP」から変更できません。
Host	「環境設定」で設定したサーバーアドレスが表示されます。
ポート	「環境設定」で設定したポートが表示されます。
最小周期	画像送信の間隔を設定します。 選択: 0秒 / 5秒 / 10秒 / 15秒 / 30秒 / 60秒 / 120秒 / 180秒 / 300秒
環境設定	送信先のFTPサーバーの設定をおこないます。

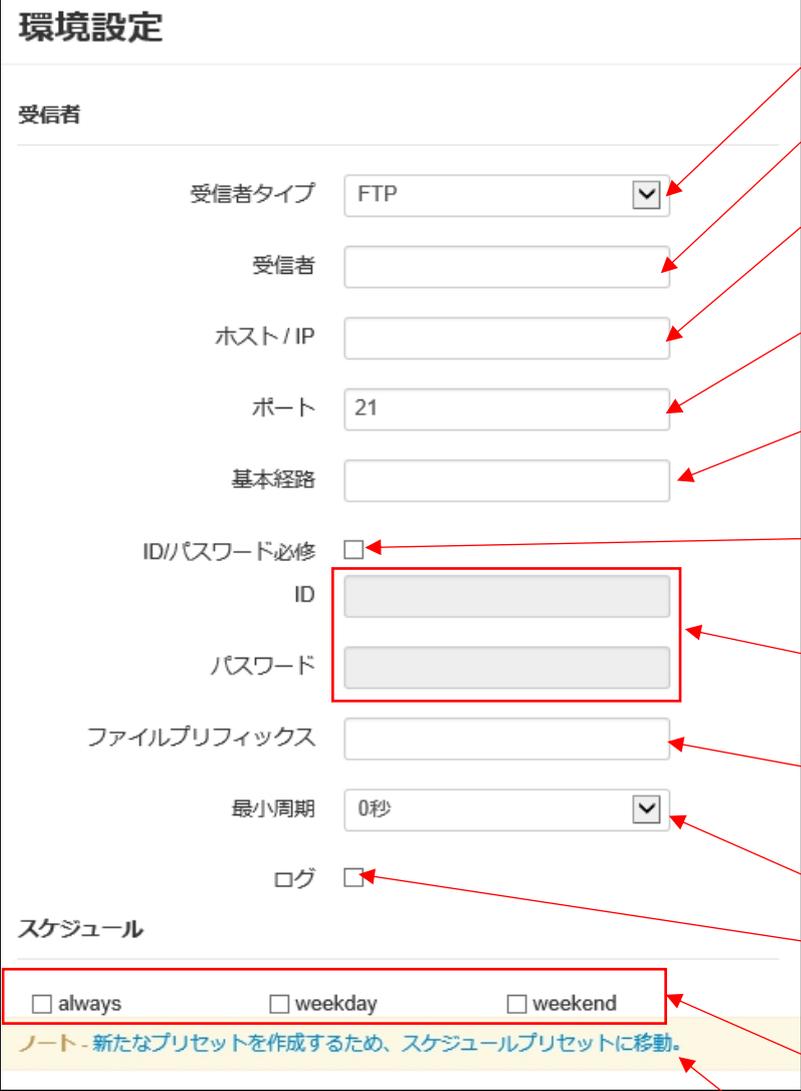
送信先FTPサーバーの設定方法は次頁を参照してください。

【FTP サーバーの設定】

① 「環境」の下の  をクリックしてください。

以下の環境設定ウィンドウが表示されます。

② 以下のように設定してください。



環境設定

受信者

受信者タイプ

受信者

ホスト/IP

ポート

基本経路

ID/パスワード必修

ID

パスワード

ファイルプリフィックス

最小周期

ログ

スケジュール

always weekday weekend

ノート- 新たなプリセットを作成するため、スケジュールプリセットに移動。

変更できません

受信者の名前を入力してください

送信先 FTP サーバーのアドレスを入力してください

送信先 FTP サーバーのアドレスを入力してください

送信先 FTP サーバーのアドレスを入力してください

FTP サーバーがユーザー認証を必要とする場合はチェックを入れてください。

上記にチェックを入れた場合、ユーザー ID とパスワードを入力してください。

保存先のディレクトリパスを入力してください。

画像の送信間隔を選択してください。

チェックを入れると画像といっしょにログを保存します。

送信先 FTP サーバーのアドレスを入力してください

クリックするとスケジュールプリセット設定ページにジャンプします。

※スケジュールプリセットの設定は「4-6-5 スケジュールプリセット」を参照してください。

4-7-3 イベント通知

■ イベント > イベント通知

イベント発生時のメール送信の設定ができます。

項目	内容						
電子メールリスト	<p>追加 をクリックして、受信者のメールアドレスを入力してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ID</th> <th>メール</th> <th>削除</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>xxx@kbdevice.com</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ID	メール	削除	1	xxx@kbdevice.com	
ID	メール	削除					
1	xxx@kbdevice.com						
最小電子メール周期	<p>メール送信する周期を選択してください。 ※設定した時間以内に次のイベントが発生してもメール送信しません。 選択: 1分 / 5分 / 10分 / 15分 / 30分 / 60分</p>						
スナップショット込み	<p>クリックしてチェックを入れると、メールにイベント発生時のカメラの画像を添付します。</p>						
スケジュール	<p>メール送信を有効にするスケジュールをクリックしてチェックを入れてください。 ※スケジュールプリセットの設定は「4-6-5 スケジュールプリセット」を参照してください。</p>						

4-7-4 アラーム動作

■ イベント > アラーム動作

アラーム入力発生時の各動作の設定ができます。

イベント>
アラーム動作

メール通知 - アクション及び、警報は、各設置ページにて設定する必要があります。

ID	イベントパラメータ		アクション		メール通知
	名前	動作	アラーム出力	イメージ発送	メール
1	ALARM 1	N/O <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

適用 キャンセル

項目	内容
名前	アラーム入力端子の名称を入力してください。
動作	アラーム入力の動作の種類を選択してください。 ※接続するセンサーの種類に合わせてください。 選択： N/O、N/C NO …… 通常時、アラーム出力端子を開放状態にします。 NC …… 通常時、アラーム出力端子を短絡状態にします。
アラーム出力	チェックを入れると、アラーム入力発生時にアラーム出力を動作させます。
イメージ発送	チェックを入れると、アラーム入力発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。
メール	チェックを入れると、アラーム入力発生時にメールを送信します。

4-7-5 モーションイベント

■ イベント > モーションイベント

モーション検知時の各動作の設定ができます。

イベント >
モーションイベント

メール通知 - アクション及び、警報は、各設置ページにて設定する必要があります。

ID	イベントパラメータ	アクション		メール通知
	無視する時間	アラーム出力	イメージ発送	メール
1	5 <input type="button" value="▼"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

項目	内容
無視する時間	モーション検知から次のモーション検知までの無視する時間の間隔を設定してください。(単位=秒) 選択: オフ / 5 / 10 / 15 / 20 / 25 / 30
アラーム出力	チェックを入れると、モーション検知時にアラーム出力を動作させます。
イメージ発送	チェックを入れると、モーション検知時に FTP サーバーへ画像を送信します。
メール	チェックを入れると、モーション検知時にメールを送信します。

4-7-6 いたずら検知イベント

- イベント > いたずら検知イベント
いたずら検知時の各動作の設定ができます。

イベント>
いたずら検知イベント

ID	イベントパラメータ	アクション		メール通知
	無視する時間	アラーム出力	イメージ発送	メール
1	5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

項目	内容
無視する時間	いたずら検知から次のいたずら検知までの無視する時間の間隔を設定してください。(単位=秒) 選択: オフ / 5 / 10 / 15 / 20 / 25 / 30
アラーム出力	チェックを入れると、いたずら検知時にアラーム出力を動作させます。
イメージ発送	チェックを入れると、いたずら検知時に FTP サーバーへ画像を送信します。
メール	チェックを入れると、いたずら検知時にメールを送信します。

4-7-7 システムイベント

■ イベント > システムイベント

システムイベント発生時の各動作の設定ができます。

イベント > システムイベント

メール通知 - アクション及び、警報は、各設置ページにて設定する必要があります。

システム

イベントパラメータ	アクション		メール通知
	アラーム出力	イメージ発送	メール
システム起動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
温度異常イベント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

項目	内容
イベントパラメータ	システム起動・・・カメラが起動した際にアクションを動作します。 温度異常イベント・・・カメラの温度が異常に上昇した際にアクションを動作します。 ※それぞれ動作させるアクションにチェックを入れてください。
アラーム出力	チェックを入れると、アラーム入力発生時にアラーム出力を動作させます。
イメージ発送	チェックを入れると、アラーム入力発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。
メール	チェックを入れると、アラーム入力発生時にメールを送信します。

5章 工場出荷時の設定一覧

本製品の工場出荷時の設定は以下のようになっています。

階層	設定項目	初期設定値
カメラ		
コーデック設定(ストリーム 1)	コーデック設定	H.264
	コーデックプロファイル	High
	サイズ	2540 × 1440
	FPS	7
	GOP	7
	ビットレートコントロール	CBR
	ビットレート	15000
	ブースト品質	オフ
	アナログ形式	NTSC
	出力帯域制限	オフ
	Supplementary	オフ
コーデック設定(ストリーム 2)	コーデック設定	H.264
	コーデックプロファイル	High
	サイズ	640 × 480
	FPS	7
	GOP	7
	ビットレートコントロール	CBR
	ビットレート	3000
	ブースト品質	-
	アナログ形式	-
	出力帯域制限	-
	Supplementary	-
コーデック設定(ストリーム 3)	コーデック設定	なし
関心領域	ROI モード	オフ
	ROI エリア設定	全体領域

階層	設定項目	初期設定値
映像設定	明るさ	15
	コントラスト	15
	彩度	15
	シャープネス	8
	映像反転	なし
	ホワイトバランスモード	自動
	デイ / ナイトモード	自動 / 0 秒
	IR LED	自動
	可変 IR	オン
	デイ / ナイト感度	デイ→ナイト 4 ナイト→デイ 7
	IR LED 照明レベル	255
露出設定	露光モード	自動
	最大 AGC	高中
	ベースシャッタースピード	1/30
	最大シャッタースピード	1/30
	スローシャッター	オフ
	フリッカレスモード	オフ
	アイリス制御	自動
	逆光補正	オフ
	WDR コントロール	オフ
	DNR コントロール	自動-中
	デフォッグコントロール	オフ
レンズ調整	フォーカス調整 デイ & ナイト	オン
	フォーカス調整 デイ & ナイト	オン
モーションセンサー	モーションモード	モーション
	モーション構成	エリア 1 のみ全領域有効 エリア 2~4 は全領域無効
	感度(デイ)	15
	感度(ナイト)	15
プライバシーマスク	エリア 1~4 すべて設定なし	
OSD	検知感度	中
	言語	日本語
いたづら検知	検知感度	中

階層	設定項目	初期設定値
ディスプレイ		
ディスプレイ	言語	日本語
音声		
音声	オーディオ活性化	オン
	オーディオコーデック	G.711 u-law 8kHz(変更不可)
ユーザー		
管理	IPv4	DHCP
	グループ	ADMIN
	パスワード	1234
	メール	なし
	メール通知	チェックなし
ネットワーク		
IP 設定	IPv4	DHCP
	HTTP ポート	80
	RTSP ポート	554
	IPv6	オフ
DDNS	DDNS	オン
	使用者設定 URL	http://(MAC アドレス).dvrlink.net (変更不可)
メール	サーバー	なし
	ポート	25
	ネットワークセキュリティー	オフ
	ユーザー	なし
	パスワード	なし
	電子メールアドレスのテスト	なし
UPnP	UPnP	オン
ネットワークセキュリティー	RTSP 認証	DIGEST
	HTTPS 有効	オフ
	HTTP 認証	BASIC
	IP フィルター有効	オフ

階層	設定項目	初期設定内容
システム		
日付/時刻	日付表示形式	月・日・年
	時刻表示形式	24 時間
	タイムサーバー	pool.ntp.org
	自動時刻同期	オフ
	同期化時間	00:00
	タイムゾーン/ サマータイム	GMT+9:00 ASIA/Tokyo
	サマータイム	オフ
システム管理	システム ID	SYSTEM ID
	パスワード有効期間	なし
ネットワークセキュリティー	オートログオフ	オフ
	自動ログアウト周期	1 分
スケジュールプリセット	下記 3 つを登録済み	
	always	毎日全時間帯
	weekday	月～金曜日の全時間帯
	weekend	土・日曜日の全時間帯
イベント		
アクション(アラーム出力)	名前	AO1
	動作	オフ
	スケジュール	なし
	種類	N/O
	持続時間	5 秒
アクション(イメージ発送)	受信者	なし
	種類	FTP(変更不可)
	Host	なし
	ポート	21
	最小周期	0 秒
	ログ	なし
イベント通知	電子メールリスト	なし
	最小電子メール周期	1 分
	スナップショット込み	なし
	スケジュール	なし
アラーム動作	名前	ALARM1
	動作	N/O
	アクション・メール通知	すべてチェックなし

階層	設定項目	初期設定内容
モーションイベント	無視する時間	5(秒)
	アクション・メール通知	すべてチェックなし
いたずら検知イベント	無視する時間	5(秒)
	アクション・メール通知	すべてチェックなし
システムイベント	アクション・メール通知	すべてチェックなし

6章

トラブルシューティング

症状	確認	対処
映像が出ない / NVR または PC から接続できない	カメラの電源(PoE HUB や NVR)などの周辺機器に電源は入っていますか？	周辺機器の電源が入っていることを確認する。
	LAN ケーブルは正しく接続されていますか？	LAN ケーブルの接続を確認する。
	IP アドレスなどのネットワーク設定は正しいですか？	NVR または PC、カメラのネットワーク設定を確認の上、正しく設定する。
SmartManager でカメラが検索されない	カメラの電源(PoE や NVR など)などの周辺機器に電源は入っていますか？	周辺機器の電源が入っていることを確認する。
	LAN ケーブルは正しく接続されていますか？	LAN ケーブルを PC、カメラ、周辺機器と正しく接続する。
	SmartManager がファイアウォールなどでブロックされていませんか？	ファイアウォールやウイルス対策ソフトを一旦オフにする。
映像が映らない / 乱れる / ノイズが見える	アドオンのインストール、実行をブロックされていませんか？	ブラウザの設定を初期化する。 ファイアウォールやウイルス対策ソフトを一旦オフにし、Web ページをリロードする。
	LAN ケーブルは、STP ケーブル(カテゴリ5e 以上)を使用していますか？	LAN ケーブルを STP ケーブル(カテゴリ5e 以上)にする。
	LAN ケーブルの配線距離が仕様(100m)より、長くなっていませんか？	100m 以内で配線する。
	配線と平行して、AC100V/200V などの電源ラインが並走していませんか？ また経路にノイズ源がありませんか？	カメラの配線から商用電源ラインやノイズ源を離すように配線する
	接続する相手側のネットワーク機器が適切に接地されていますか？	接続する相手側のネットワーク機器を適切に接地する。
	金属の支柱や壁に設置している場合、カメラを絶縁していますか？	金属の支柱や壁に設置する際はカメラを絶縁する。
	映像がぼやける	フォーカスは合っていますか？
カメラのカバー、レンズは汚れていませんか？		きれいな布でふき取る。
映像が暗い	画像(画角)の中に照明などの光が入っていませんか？	照明が映らないようにカメラのアングルを調整する。
	モニターの設定は正しいですか？	モニターの設定を確認する。
	WDR、測光モードの設定はできていますか？	WDR、測光モードを設定する。
	露出コントロールは正しく設定されていますか？	露出コントロールを設定する。
カラー撮影とモノクロ撮影が切り替わらない	照度センサーに直接光があたっていませんか？	カメラのアングルを調整する。
	カメラのレンズ、カバーは汚れていませんか？	きれいな布でふき取る。
	デイ&ナイトコントロールのしきい値は適切ですか？	しきい値を調整する。
ネットワーク接続できない	接続やネットワーク設定に問題がありませんか？	ネットワーク管理者に相談する。
DDNS 接続でネットワークに接続できない	接続やネットワーク設定に問題がありませんか？	ネットワーク管理者に相談する。

製品仕様・寸法・保証書は取扱説明書-設置編-をご確認ください。